

BenQ Education

BenQ Board

インタラクティブフラットパネル

品名 : RM6504/RM7504/RM8604

(型名 : RM6504/RM7504/RM8604/RM6504-2/RM7504-2/RM8604-2)

ユーザーマニュアル

著作権及び免責事項

免責事項

BenQ Corporation は、本書の内容に関し、明示的および暗示的いかなる表明や保証も行いません。BenQ Corporation は、本出版物を改訂し、その内容を随時変更する権利を有しますが、かかる改訂または変更についていかなる人物にも通知する義務を負うことはありません。

HDMI 商標の免責事項

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI ロゴは、米国および他の国々における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



著作権

Copyright © 2023 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

製品サポート

本書は、最新かつ正確な情報を提供することを目的としているため、事前の通知なく内容が更新される場合があります。本書の最新版とその他の製品情報は、ウェブサイトをご覧ください。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。




- コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
- www.BenQ.com からお住まいの国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトと内容は、地域 / 国によって異なります。
- ユーザーマニュアルと関連ドキュメントはこちらから入手できます：www.BenQ.com > ビジネス > サポート > ダウンロード > モデル名 > ユーザーマニュアル
- (EU 地域向けのみ) 解体情報: ユーザーマニュアルのダウンロードページをご覧ください。このドキュメントは、製品の修理または再利用に関する規制 (EU) 2019/2021 をもとに提供されています。保証期間内の修理については、必ずお近くのカスタマーサービスにお問合せください。保証期間が終了した製品の修理については、BenQ のサポートセンターへお問い合わせください。解体、あるいはそれに類する行為により発生した結果について責任を負えない場合は、絶対に本製品を解体しないでください。製品について情報が見つからない場合は、お近くのカスタマーサービスまでお問合せください。

目次

著作権及び免責事項	i
製品サポート	ii
安全に関する警告と注意事項	1
安全上の重要な注意事項	2
本電子黒板に関する注意事項	2
本電子黒板の LCD パネルに関する注意事項	2
電子黒板の清掃に関する注意事項	3
リモコンの安全上の注意事項	3
電池の安全上の注意	3
BenQ の Eco ファクト	3
パッケージ内容	5
電子黒板をセットアップする	6
電子黒板を壁に設置する	6
カメラを設置する	7
USB-C カメラ (DV01K) の場合	7
USB-A カメラ (DVY32) の場合	7
外部 PC を設置する	8
電子黒板の各部とその機能	9
フロントパネル	9
背面パネル	10
リモコン	11
リモコン電池を設置する	12
リモコンで BenQ ボードを使用する	13
リモコンと USB レシーバをペアリングする	13
リモコンの使い方のヒント	13
接続	14
電源を接続する	14
電子黒板のオンオフを切り替える	14
タッチモジュールを接続する	15
VGA 入力を接続する	16
デジタル入力を接続する	16
ビデオ出力を接続する	17
シリアルポートに接続する	17
初期設定	18
AMS サービスを有効にする	18
BenQ ボードにログインする	19

BenQ サービスインターフェイス.....	19
サイドツールバー.....	20
インターネット接続を設定する.....	21
ワイヤレス接続.....	21
Wi-Fi のプロキシ設定.....	22
イーサネットのプロキシ設定.....	23
システムアップデート.....	24
Google システムインターフェイス.....	25
メニュー操作.....	26
接続設定.....	26
一般設定.....	27
画面設定.....	28
Eye-Care ソリューション.....	29
音設定.....	30
詳細設定.....	31
フローティングツール.....	33
アプリ.....	34
対応するメディア形式.....	35
製品情報.....	37
仕様.....	37
寸法 (RM6504).....	40
寸法 (RM7504).....	41
寸法 (RM8604).....	42
対応する入力信号解像度.....	43
トラブルシューティング.....	44


安全に関する警告と注意事項

 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ご注意</p> <p>感電の危険があります。</p> </div> <p>ご注意：感電の危険を避けるため、カバー（または背面）を取り外さないでください。 内部にユーザーが修理できる部品はありません。 有資格のサービス担当者に修理を依頼してください。</p>	<p>この装置は必ず接地してください</p> <p>安全な動作を確保するため、3ピンプラグは、通常の家庭用配線で効果的に接地されている標準の3ピン電源コンセントにのみ挿入してください。機器に使用する延長コードには3芯のものを使用し、アースに接続できるように正しく配線してください。延長コードの配線の誤りは、死亡事故の主な原因となっています。</p> <p>機器が正常に動作したからといって、コンセントが接地されていることや、設置が完全に安全であることを意味するものではありません。安全のため、コンセントの効果的なアースについて疑問がある場合には、有資格の電気技師にご相談ください。</p>
	<p>正三角形の中にある、矢印の付いた稲妻のシンボルは、製品の筐体内に、人体に感電の危険をもたらす強度の、絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザーに警告することを目的としています。</p>
	<p>正三角形の中にある感嘆符は、本機器に添付されている文献に重要な操作と保守（修理）の指示があることを警告するためのものです。</p>

電源コードの主電源プラグは、容易に操作できる状態にしてください。AC レセプタクル（主電源コンセント）は機器の近くに設置し、容易にアクセスできるようにしてください。本装置を AC 主電源から完全に切断するには、電源コードのプラグを AC レセプタクルから抜いてください。

- この電子黒板を、落下してご自身や他者に損傷を与える可能性のある水平でない場所、傾斜、不安定な面（台車など）に置かないでください。
- スパやプールのような水の近くや、雨水が浸入する可能性がある開けっ放しの窓の前など、電子黒板へに水しぶきや飛沫がかかりうる場所にこの電子黒板を置かないでください。
- この電子黒板を、密閉されたキャビネットの中など、適切に換気されていない、狭い場所に設置しないでください。電子黒板内部の熱を放散するため、周囲に適切なスペースを確保してください。電子黒板の開口部や通気孔を塞がないでください。過熱は危険や感電の原因となります。
- この電子黒板の設置は、有資格の技術者のみが行ってください。この電子黒板を適切に設置しないと、人や電子黒板に怪我や損傷を与える可能性があります。定期的に設置を確認し、電子黒板を定期的にメンテナンスを行い、最良の作動状態を確保してください。
- 本電子黒板の取り付けには、メーカーが承認または推奨するアクセサリのみを使用してください。間違ったり不適切なアクセサリを使用すると、電子黒板が落下し、重大な人身傷害を引き起こす可能性があります。表面と固定部が電子黒板の重量に耐えられるよう、強度が十分であることを確認してください。
- 感電の危険を避けるため、カバーを取り外さないでください。内部にユーザーが修理できる部品はありません。有資格のサービス担当者に修理を依頼してください。
- 人身事故を防ぐため、使用前に電子黒板を取り付けるか、デスクトップスタンドを設置する必要があります。

安全上の重要な注意事項

1. この装置を水の近くで使用しないでください。
2. 換気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
3. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の熱を発する機器（アンプを含む）など熱源の近くに設置しないでください。
4. 極性プラグやアース型プラグの安全上の目的を無視しないでください。極性プラグには2つのブレードがあり、一方は他方より幅が広がっています。接地型プラグには2つのブレードと3番目の接地プロングがあります。幅広の刃と第3の突起は安全のために設けられています。付属のプラグがコンセントに合わない場合には、電気技師に相談のうえ、古いコンセントを交換してください。
5. 電源コードを踏んだり挟んだりしないで下さい。特にプラグ部分やコンセント箇所、その他機器から出ている部分にご注意ください。
6. メーカー指定のアタッチメント／アクセサリのみを使用してください。
7. メーカー指定のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブル、または本機と一緒に販売されているもの以外を使用しないでください。カートを使用される場合には、カートと装置を組み合わせて移動させる際に転倒による怪我にご注意ください。落雷時や長時間使用しない場合には電源プラグを抜いてください。
8. すべての整備は、有資格のサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが損傷している、液体がかかった、物を落下させた、雨や湿気にさらされた、正常に動作しない、本機に物が落ちたなど、本機に何らかの損傷がある場合には修理が必要です。

本電子黒板に関する注意事項

- 身体傷害の危険を避けるため、お一人で電子黒板を持ち上げないでください。
- 電子黒板を最終的な設置場所まで運搬する際には、持ち上げたり、水平なカートでの搬出手伝える人員を4人以上用意してください。
- 電子黒板はできるだけ水平に保ってください。
- 開梱する前に床のスペースを確保してください。

本電子黒板の LCD パネルに関する注意事項

- 本電子黒板の液晶電子黒板（LCD）パネルには、非常に薄いガラスの保護層があり、衝撃や圧力がかかると跡や傷が付いたり、ひびが入ったりするおそれがあります。また、液晶基板は過度な圧力や極端な温度が加わると損傷する可能性があります。お取扱いには十分にご注意ください。
- LCD パネルの応答速度と輝度は、周囲温度によって変化することがあります。
- 電子黒板を直射日光の当たる場所や、直射日光やスポット照明が LCD パネルに当たる場所に置かないでください。熱によってパネルや電子黒板の外部ケーシングが損傷する可能性があるほか、明るい光によって電子黒板が必要以上に見づらくなる可能性があります。
- 液晶パネルは画像を表示するための個々の画素で構成され、設計仕様に従って製造されます。これらの画素の99.9%は正常に動作しますが、0.01%は常時点灯（赤、青、緑のいずれか）または非点灯のままになる可能性があります。これは LCD 技術の技術的限界であり、欠陥ではありません。
- プラズマ (PDP) や従来の CRT (陰極線管) スクリーンと同様、LCD スクリーンも「スクリーンの焼き付き」や「画像保持」の影響を受けやすく、これらは固定線や影としてスクリーン上に現れることがあります。このような画面の損傷を避けるため、静止画像（オンスクリーン電子黒板メニュー、テレビ局のロゴ、固定／非アクティブなテキストやアイコンなど）を30分以上表示しないようにしてください。アスペクト比を時々変更してください。スクリーン全体を画像で満たし、できる限り黒いバーを除去してください。16:9のアスペクト比で画像を長時間表示することは避けてください。画面に2本の縦線として焼き跡が見えることがあります。

- ・ご注意：特定の状況下ではカバーガラスの内側が結露することがありますが、これは自然現象であり、電子黒板の動作には影響しません。通常、この結露は通常の動作で約2時間後に解消します。
- ・RMシリーズには画像保持機能はありません。詳細につきましては、インストールガイドをご参照ください。電子黒板に静止画が必要な場合には、ピクセルシフトを有効化されるにすることを勧めます。
- ・RMシリーズは縦方向での使用をサポートしていません。縦向きで使用すると、電子黒板に損傷を与える可能性があります。BenQの保証は、誤った使用方法には適用されません。

電子黒板の清掃に関する注意事項

タッチスクリーンに不具合の兆候がある場合にはフレームを清掃してください。

1. 画面を清掃される前に、電子黒板の電源がオフになっていることを確認してから電源コードを抜いてください。
2. 乾いた布でスクリーンの埃や汚れを取り除いてください。最小限の力を用い、画面を強く押さないようご注意ください。
 - ペーパータオルや、画面に拭き取り跡や糸くずが付着する可能性のあるものは絶対に使用しないでください。
3. 清潔で柔らかく糸くずの出ない布を、70%イソプロピルなどの洗浄用アルコールで湿らせます。画面全体を優しく拭きます。
 - 危険な化学薬品やアンモニアベースのクリーナーは絶対に使用しないでください。
 - マイクロファイバークロスを液体に完全に浸さないでください。
 - 液体を画面に直接吹きかけないでください。

リモコンの安全上の注意事項

- ・リモコンを高温多湿の場所に直接置かず、火気を避けてください。
- ・リモコンを落とさないでください。
- ・リモコンを水や湿気に晒さないでください。故障の原因となることがあります。
- ・リモコンと本製品のリモコン受光部との間に障害物がないことを確認してください。
- ・リモコンを長期間使用しない場合には電池を取り外してください。

電池の安全上の注意

誤った種類の電池を使用しますと、薬液の漏れや爆発の原因となることがあります。以下の点にご注意ください。

- ・電池収納部に示されている通りに、電池のプラスとマイナスの端子が正しい方向に挿入されていることを常に確認してください。
- ・電池の特性は電池の種類によって異なります。異なる種類を混用しないでください。
- ・古い電池と新しい電池を一緒に使わないでください。古い電池と新しい電池を混用しますと、電池寿命が短くなったり、古い電池からの薬液漏れが発生したりすることがあります。
- ・電池が機能しなくなった場合には、直ちに交換してください。
- ・電池から漏れた化学物質は皮膚炎を引き起こす可能性があります。電池から化学物質が染み出した場合には、直ちに乾いた布で拭き取り、速やかに電池を交換してください。
- ・保管条件の変化により、付属の電池の寿命が短くなることがあります。最初の使用後、3か月以内またはできる限り速やかに交換してください。
- ・地域によって、電池の廃棄またはリサイクルに関する制限が設けられている場合があります。地域の規制をご参照になるか、廃棄物処理業者にまでお問合せください。

BenQのEcoファクト

BenQは、低炭素社会の実現を目指す「Bringing Enjoyment 'N Quality to Life」という企業ビジョンの実現のため、より環境に優しい製品の設計と開発に注力してきました。BenQは、環境管理に関する国際的な規制要件と基準を満たすことに加え、製品の材料選択、製造、梱包、輸送、使用、廃棄においてライフサイクルデザインを採用する取り組みの推進に努力を惜しみません。

消費者が購入時に十分な情報に基づいてエコフレンドリーな判断ができるよう、BenQ の ecoFACTS ラベルには、各製品の環境に優しい設計の主なハイライトが表示されています。BenQ の環境への取り組みと実績の詳細につきましては、BenQ の CSR ウェブサイト <http://csr.BenQ.com/> をご覧ください。

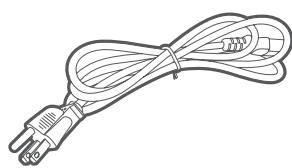


パッケージ内容

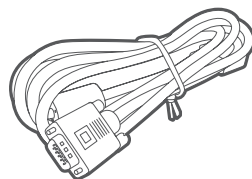
製品パッケージを開封し、同梱品をご確認ください。欠品や破損があった場合は、すぐにお買い上げになった販売店にお問い合わせください。



電子黒板本体



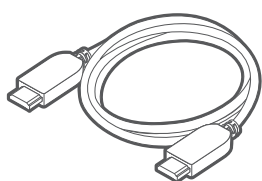
電源コード (地域別)



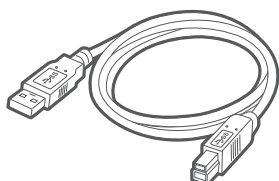
VGA ケーブル× 1



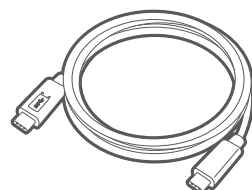
2.4 GHz リモコン



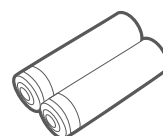
HDMI ケーブル× 1



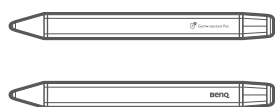
タッチ操作 USB
ケーブル x 1



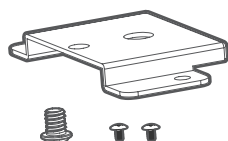
USB Type-C
ケーブル x 1



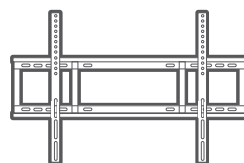
単四乾電池 x 2 *



タッチペン
(NFC タグなし) × 2



カメラ取り付けキット



壁掛け金具
(設置ネジ付き)



ユーザー文書
(クイックスタートガイド、壁掛け設置ガイド、規定シート)



- *: モデルによっては異なる場合があります。付属品がパッケージに含まれていない場合には別途ご購入ください。
- 付属の電源コードの種類は、購入地域によりましては図示のものと異なる場合があります。
- 梱包材を廃棄される前に、箱の中に付属品が残っていないことをご確認ください。
- 梱包材は環境に配慮して廃棄してください。段ボール箱はリサイクルできます。本製品を将来的に移動する必要がある場合に備え、可能であれば梱包材を保管されることをおすすめします。
- ビニール製の袋は、お子様の手が届かない場所に保管してください。

電子黒板をセットアップする

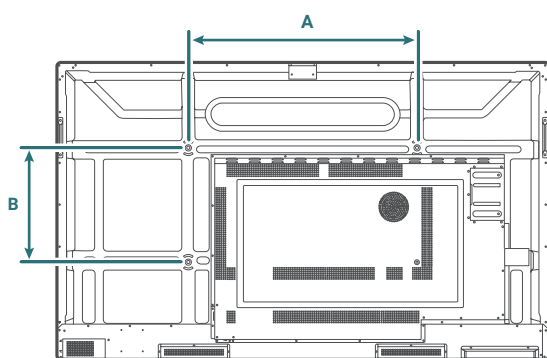


設置時は次の注意事項にご注意ください。

- ・本電子黒板は大人2人以上で設置してください。本電子黒板を1人で設置しようとすると、危険や怪我が発生するリスクがあります。
- ・取り付けは有資格技術者に依頼してください。正しく取り付けられないと、電子黒板の落下や故障の原因となります。
- ・安定性の危険：フラットパネルが落下し、重傷や死亡事故の原因となる可能性があります。怪我を防ぐため、当フラットパネルは取付説明書に従って壁にしっかりと取り付ける必要があります。

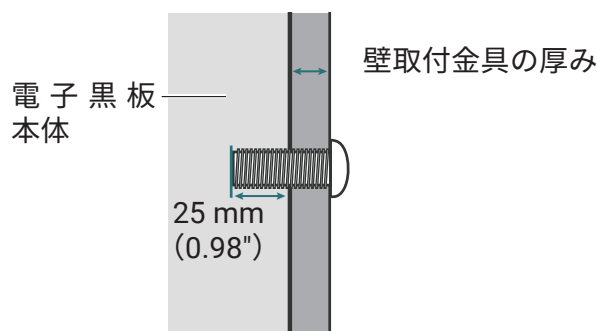
電子黒板を壁に設置する

1. 清潔で乾いた、糸くずの出ない布を、物の置かれていない水平な表面に置きます。電子黒板より大きめの布をご使用ください。
2. LCD スクリーンを下にして、布の上に電子黒板をそっと置きます。
3. 図の通り、電子黒板の背面にある壁取り付けネジ穴を確認します。

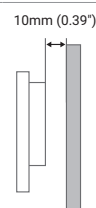


寸法	VESA 仕様。(A x B)	ネジ式	数
65"	600 x 400 mm	M8 x 25L	4
75"	800 x 400 mm	M8 x 25L	4
86"	800 x 600 mm	M8 x 25L	4

4. 壁付けブラケットを電子黒板に取り付け、取り付けブラケットの指示に従って電子黒板を壁に取り付けます。ねじの長さは、壁付けブラケットの厚さを少なくとも 25mm 超えるべきです。すべてのねじが適切に締め付けられ、固定されていることを確認します。（推奨トルク：470 ~ 635N・cm）。



- ・適切な通気を維持するため、電子黒板の背面カバーと壁とを 10mm 以上離してください。
- ・壁掛け設置につきましては専門技術者にご相談ください。メーカーは専門技術者以外の設置について一切の責任を負いません。



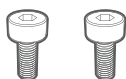
カメラを設置する

電子黒板の頂部にウェブカメラをセットアップします。ウェブカメラの接続ポートに応じて、2つの設置方法が提供されます。

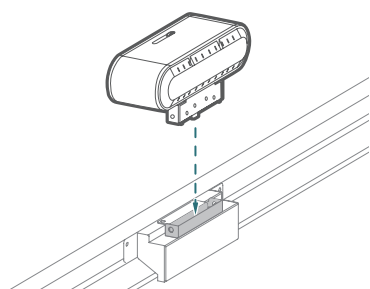
- USB-C カメラ (DV01K) の場合
- USB-A カメラ (DVY32) の場合

USB-C カメラ (DV01K) の場合

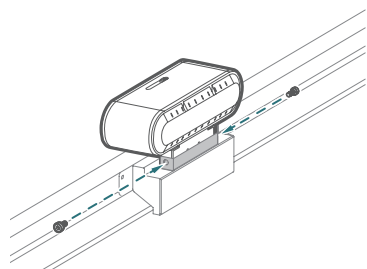
必要な取り付け部品：



M3 ネジ× 2



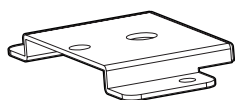
1. 電子黒板頂部の USB-C ポートにカメラを接続します。



2. 付属のネジでカメラを固定します。

USB-A カメラ (DVY32) の場合

必要な取り付け部品：



取付金具

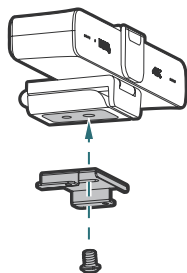


1/4" ネジ (8mm)

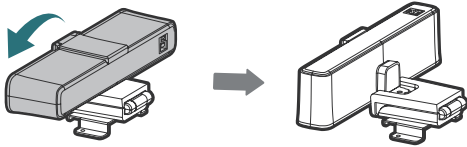


M3 × 5mm ネジ× 2

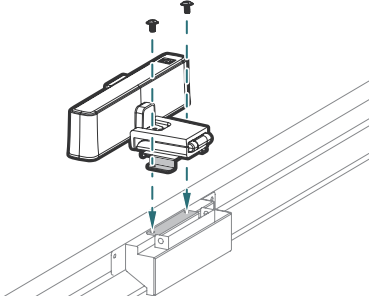
カメラ取付金具を設置するには：



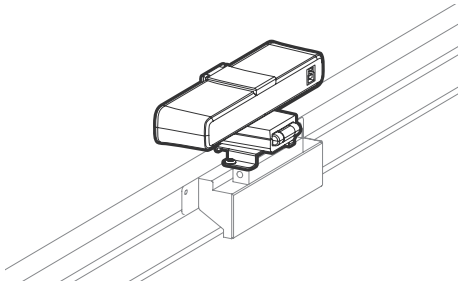
1. カメラを取付金具に置き、1/4”のネジをカメラのネジ穴にねじ込んでカメラを固定します。



2. カメラを下方に傾けます。



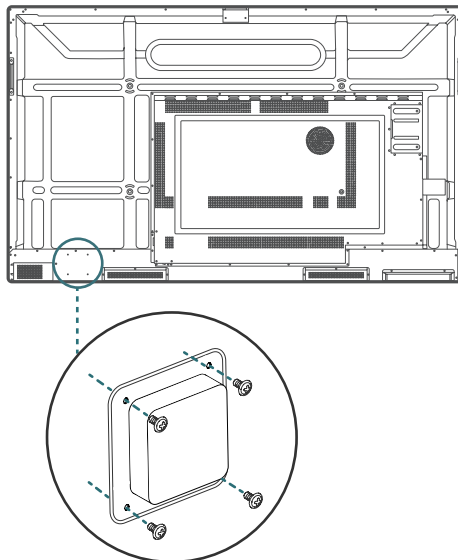
3. 電子黒板の頂部に 2 本の M3x5mm ネジで取付金具を設置します。



4. カメラを後方に傾けます。

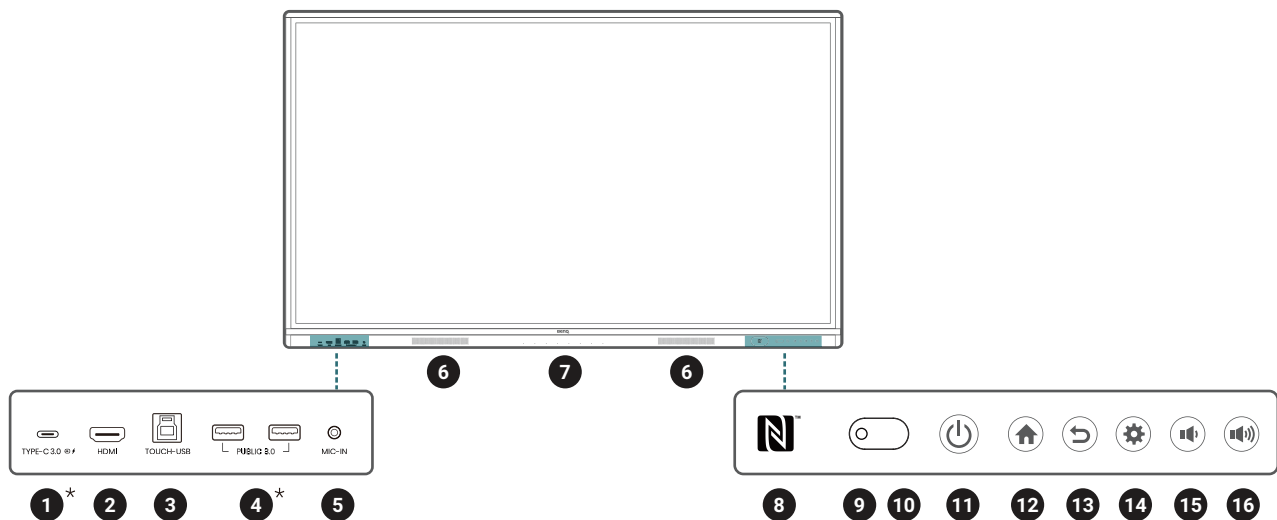
外部 PC を設置する

電子黒板の背面の左下には、VESA マウント 75x75mm の寸法のネジ穴が 4 個あります。PC は 4 本のネジで電子黒板に固定できます (最大トルク：4-5 kgf-cm)。



電子黒板の各部とその機能

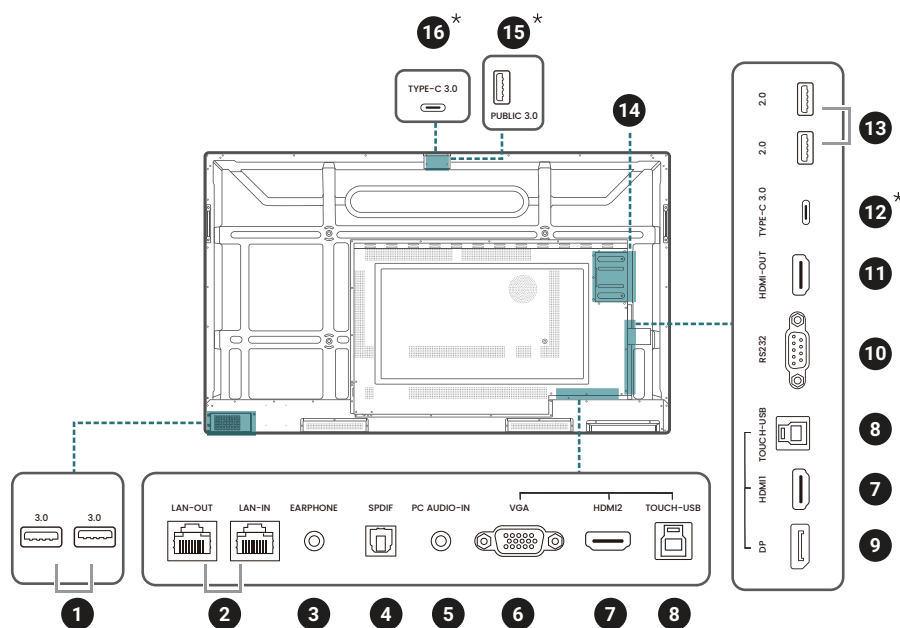
フロントパネル




番号	名称	説明
1	Type-C*	USB-C デバイスに接続し電力供給とデータ転送します。ビデオ、オーディオ、タッチ機能の送信をサポートします。
2	HDMI	HDMI インターフェイスをサポートするビデオ ソースに接続します。
3	タッチ USB	外部コンピューターからのタッチ信号入力に対応します。
4	PUBLIC 3.0*	キーボード、マウス、USB メモリなどの USB-A デバイスを接続します。
5	マイク入力	マイクを接続して、電子黒板スピーカーから増幅された音声を送出します。 🔗 このポートは、3.5mm TRS コネクタ (2リング) のみに対応しています。
6	スピーカー	
7	アレイマイク	電子黒板の近くの音声を受信します。
8	NFC センサー	AMS ログイン用の NFC カードをタップします。
9	環境光センサー	電子黒板周囲の環境光を検出します。
10	赤外線受光部	リモコンから赤外線信号を受信します。
11	電源	<ul style="list-style-type: none">・ タップすると省エネモードになります。・ 4 秒以上押し続けると電源が切れます。
12	ホーム	メイン画面に戻ります。
13	戻る	前のメニューに戻ります。
14	メニュー	機能メニューを開きます。
15	音量を下げる	音量を下げます。
16	音量を上げる	音量を上げます。

背面パネル












詳しくは [14 ページの接続](#) をご参照ください。



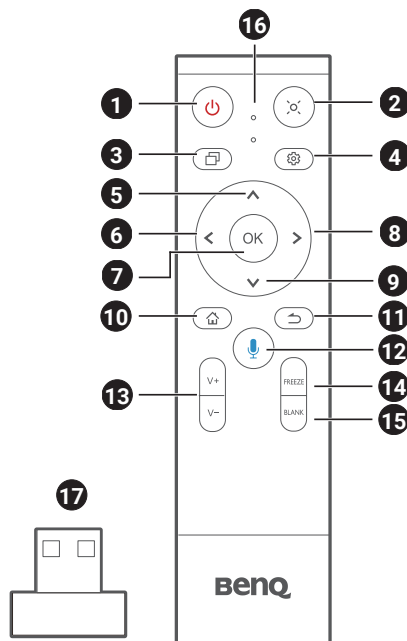
番号	名称	説明
1	USB 3.0	USB カバーを外して、無線 LAN 子機およびリモコン USB 受信機の USB スロットにアクセスします。
2	LAN 出力 / LAN 入力	LAN In & Out、Android システムおよび OPS の 10/100/1000 Mbps をサポートします。
3	イヤフォン	外部スピーカーまたはイヤホンに接続して音声を出力します。
4	SPDIF	SPDIF ケーブルを外部オーディオ デバイスから電子黒板に接続してオーディオ出力を行います。
5	PC オーディオ入力	外部機器からの音声入力を受信します (VGA 入力用)。
6	VGA	外部機器 (コンピューターなど) から入力を受信します。
7	HDMI 1/HDMI 2	HDMI インターフェイスをサポートするビデオ ソースに接続します。  HDMI ARC に対応しているのは HDMI 1 のみです。 詳細設定 > HDMI CEC&ARC に移動して、機能を有効にします。
8	タッチ USB	外部コンピューターからのタッチ信号入力に対応します。
9	DP IN	ビデオソースを電子黒板デバイスに接続します。
10	RS232	デバイス間のデータの相互転送に使用されるシリアルインターフェイスです。
11	HDMI 出力	デバイスと HDMI 入力で接続します。
12	Type-C*	USB-C デバイスに接続しデータ転送します。
13	USB 2.0	キーボード、マウス、USB フラッシュメモリなどの USB-A デバイスを接続します。
14	OPS スロット (ポート)	スロットイン PC の設置をサポートします。












番号	名称	説明
15	PUBLIC 3.0*	ウェブカメラや USB フラッシュドライブなどの USB デバイスに接続します。
16	Type-C*	🔌 ポート 15 および 16 には、一度に 1 つのポートのみを使用します。





🔌 * これらのスマートポートにより、ノートパソコン（USB タイプ C または HDMI + タッチ USB 経由で BenQ Board に接続）は BenQ Board の USB デバイス、スピーカー、外部カメラを使用して会議体験を向上させることができます。内蔵アレイマイクには OPS ソースからしかアクセスできないことに注意してください。

- USB 2.0= 5V  500mA / USB3.0= 5V  900mA
- 背面 Type-C(データ転送のみ)=5V  0.9A
- 前面 Type-C=5V  3A;9V  3A;12V  3A;15V  3A;20V  3.25A
- OPS= 18V  5A; 90W
-  : 直流 (DC)
-  : 交流 (AC)
- USB スロットで使用できるケーブルの最大長は 5m (USB 2.0) 、3m (USB 3.0) です。

リモコン



番号	アイコン	説明
1		電子黒板をオンまたはオフにします。
2		ポインタ・キー。押してスポットライトまたはポインタ機能をアクティブにし、画面の指示に従います。
3		押して、最近のアプリと入力ソースを表示したり切り替えたりします。
4		押すとメニューを開いたり閉じたりすることができます。
5		方向キー。押して上方向に選択します。
6		方向キー。押して左方向に選択します。
7		押すと次に進みます。
8		方向キー。押して右方向に選択します。
9		方向キー。押して下方向に選択します。
10		Android システムのメイン画面のボタンです。
11		リターンキー

番号	アイコン	説明
12		押して Google アシスタントを起動します。コマンドを言って BenQ ボードを制御します。
13	V+ / V-	音量を上げる / 下げる
14	FREEZE	画面をフリーズする
15	BLANK	1つのキーで画面を消画します。別のブランクモードを設定するには、  > 画面設定 > 詳細オプション > リモコンの BLANK ボタン に進みます。
16		マイク
17		リモコンとペアリングする USB レシーバ。詳しくは 12 ページのリモコンで BenQ ボードを使用する を参照してください。

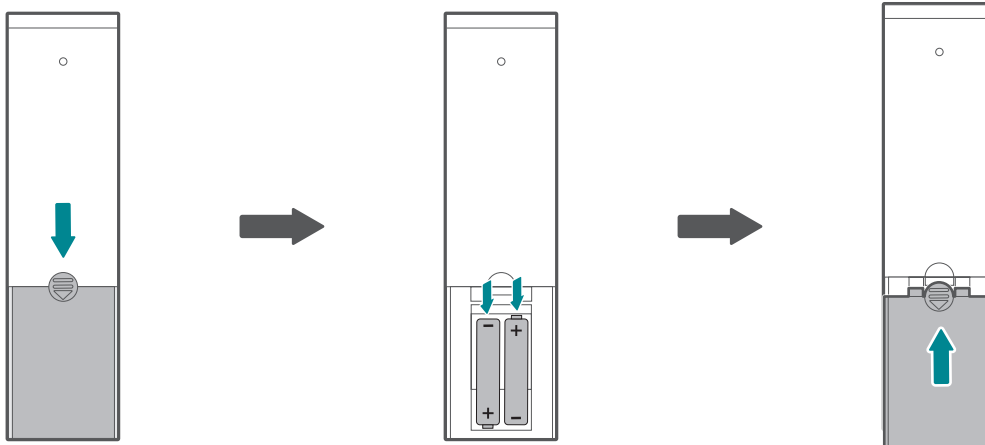
リモコン電池を設置する

1. リモコンの電池カバーを開けます。
2. 付属の電池を、プラス極とマイナス極が正しい方向を向いていることを確認してから挿入します。



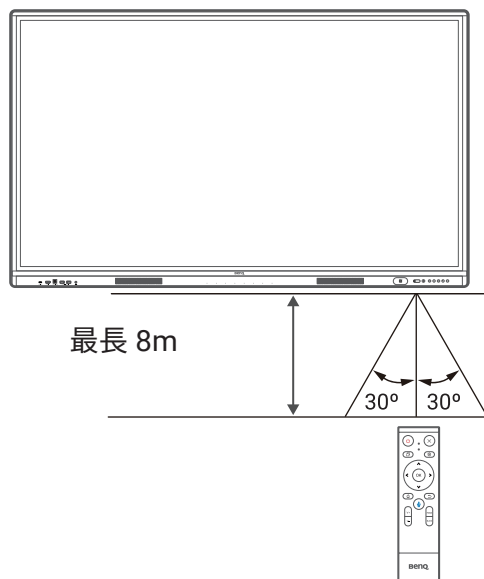
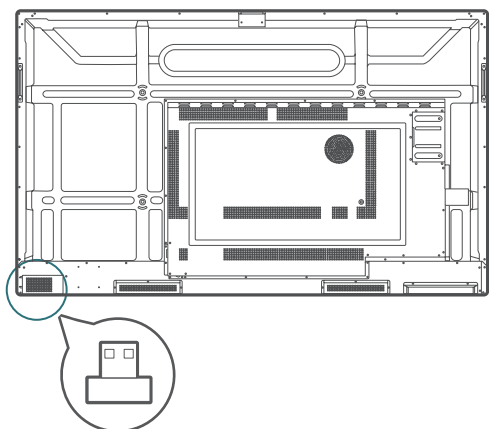
すぐに電子黒板を操作できるよう、電池が付属しています。できる限り速やかに交換してください。

3. カバーを元に戻します。



リモコンで BenQ ボードを使用する

1. リモコン USB 受信機を、ディスプレイ背面の左下隅にある USB-A ポートに挿入します。
2. リモコンは電子黒板の右下のセンサーに向け、距離は 8m 以内、水平および垂直角度は 60 度未満としてください。



- リモコンと USB レシーバは、デフォルトでペアリングされています。
- このリモコンは特定のモデルとオペレーティングシステムにのみ適用されます。ご質問がございましたら販売代理店までお問い合わせください。

リモコンと USB レシーバをペアリングする

リモコンの機能キーを使用して問題が発生した場合は、手順に従い、リモコンを再度ペアリングして問題を解決してください。

1. BenQ ボードの USB ポートに USB レシーバを挿入し、その近くにリモコンを置きます。
2. **V-**と **BLANK** を同時に押すと、インジケータが点滅し始めます。
3. インジケータの点滅が停止すると、ペアリングが完了します。

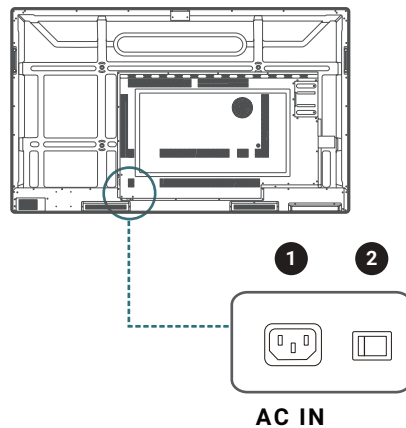
リモコンの使い方のヒント

- リモコンを濡らしたり、湿気が多い環境（浴室など）に保管したりしないでください。
- 電子黒板のリモコン受光窓に直射日光や強い光が当たると、リモコンが正常に動作しなくなることがあります。この場合、光源を変えるか、電子黒板の角度を再調整するか、電子黒板のリモコン受光窓に近い場所からリモコンを操作してください。

接続

電源を接続する

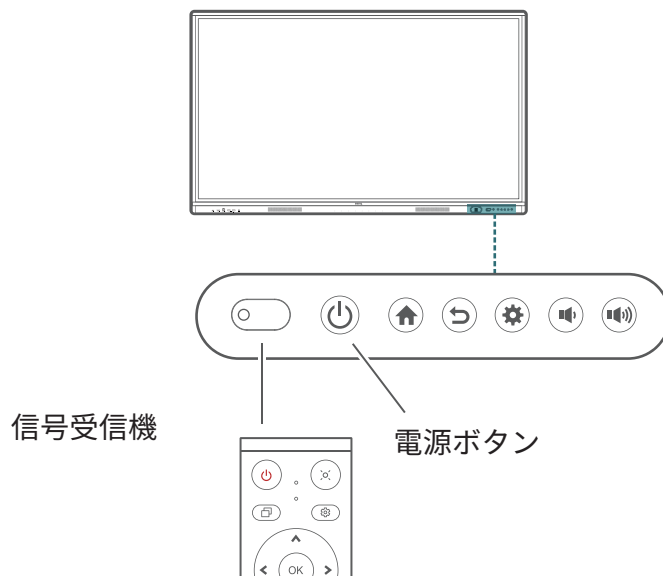
1. 電源コードの一端を電子黒板の電源ジャックに差し込み、もう一端を適切な電源コンセントに差し込みます。
2. 電源スイッチを ON (I) にします。システムはスタンバイモードに入ります。



- 付属の電源コードは、110～240V AC 電源での使用にのみ適しています。
- 図示されている電源コードとコンセントは、お住まいの地域で使用されているものとは異なる場合があります。
- お住まいの地域に適した電源コードのみを使用してください。損傷したか擦り切れていると思われる電源コードを使用したり、電源コードのプラグの種類を変更したりしないでください。
- 延長コードや複数のコンセントの電源ボードを使用する場合には、電力負荷にご注意ください。
- 本電子黒板にはユーザーが修理できる部品はありません。カバーのネジを緩めたり取り外したりしないでください。電子黒板内には危険な電圧がかかっています。電子黒板を移動する場合には、電源を切り、電源コードを抜いてください。

電子黒板のオンオフを切り替える

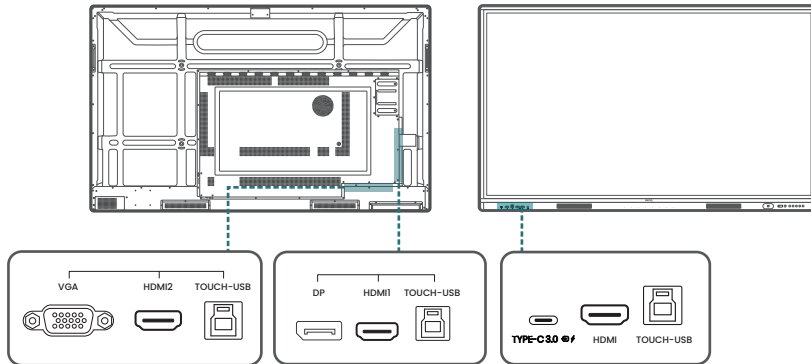
- 電子黒板の電源を入れるには、コントロールパネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
- 電子黒板の電源を切るには、コントロールパネルの電源ボタンを押します。システムは自動的にスタンバイモードに入ります。



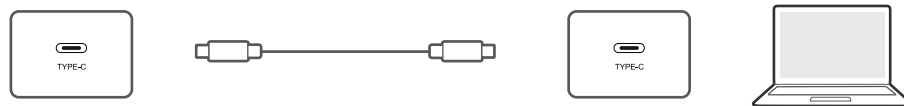
- 電子黒板のスタンバイモードでも電力が消費されます。完全に電源を遮断するには、電源スイッチを OFF (O) にし、電源コードをコンセントから抜きます。

タッチモジュールを接続する

電子黒板のタッチモジュールは簡単なプラグアンドプレイ操作をサポートしています。コンピューターに追加のドライバーをインストールする必要はありません。ビデオとタッチ入力を設定するには、以下のいずれかの方法をお試しください。



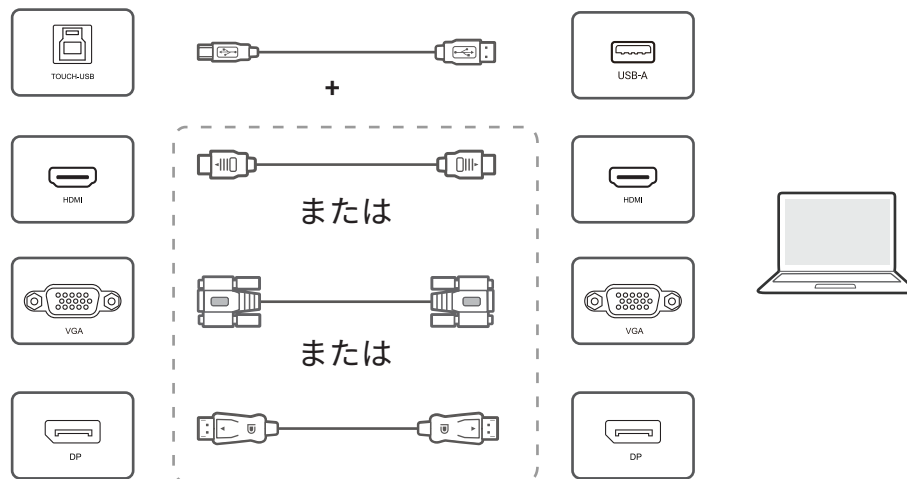
A. 付属の USB タイプ C ケーブルを使用して、電子黒板の **Type-C** ポートをコンピューターの USB タイプ C ポートに接続します。



B. ビデオ ケーブル (**HDMI/DP IN/VGA**) と付属のタッチ USB ケーブルを、コンピューターから電子黒板の対応ポートに接続します。



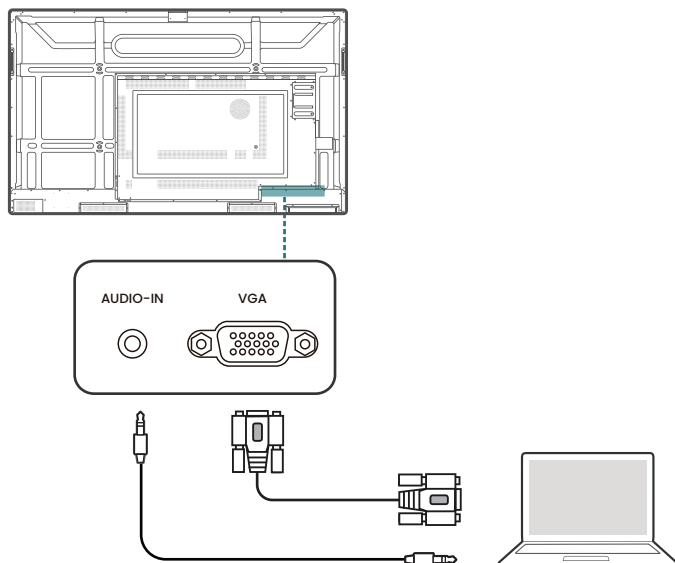
- **HDMI** は、フロントパネルで**タッチ USB** と一緒に使用する必要があります。
- **HDMI 1** または **DP IN** は、**HDMI 1** の次の**タッチ USB** と一緒に使用する必要があります。
- **HDMI 2** または **VGA** は、**HDMI 2** の次の**タッチ USB** と一緒に使用する必要があります。




- タッチモジュールを起動する際に、タッチスクリーンフレーム (センサーが配置されている場所) をブロックしないようご注意ください。
- ゴーストイメージが発生した場合には、すべての USB ケーブルを一度抜いてから再度差し込んでください。障害イメージがまだ存在する場合には、別の USB タイプ B ~ タイプ A ケーブルを使用してください。
- 電子黒板を PC またはノートパソコンに直接接続することが強く推奨されます。電子黒板の品質は、ケーブルグレード、ケーブル品質、送信元および宛先の機器、RF および電氣的干渉、ケーブルパッチなど多くの不確実性の影響を受ける可能性があるため、フェイスプレートデバイスまたはエクステンダーを使用すると、タッチ操作で障害が発生する可能性があることにご注意ください。

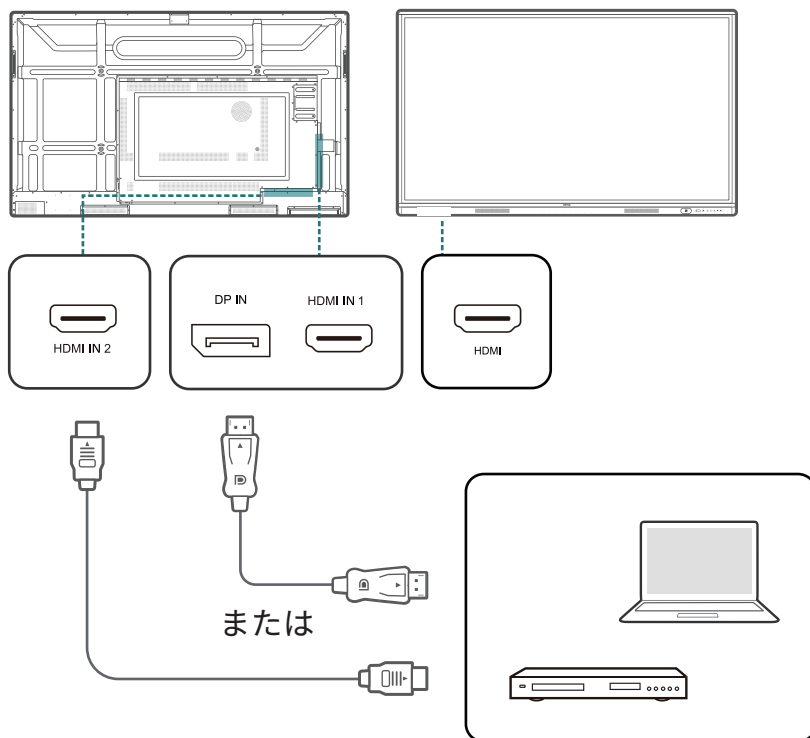
VGA 入力を接続する

1. D-Sub (15 ピン) ケーブルを使用して、電子黒板の **VGA** ポートをコンピューターの VGA 出力ポートに接続します。
2. 適切なオーディオケーブルを使用し、コンピューターのオーディオ出力ポートを電子黒板の **PC オーディオ入力ジャック** に接続します。



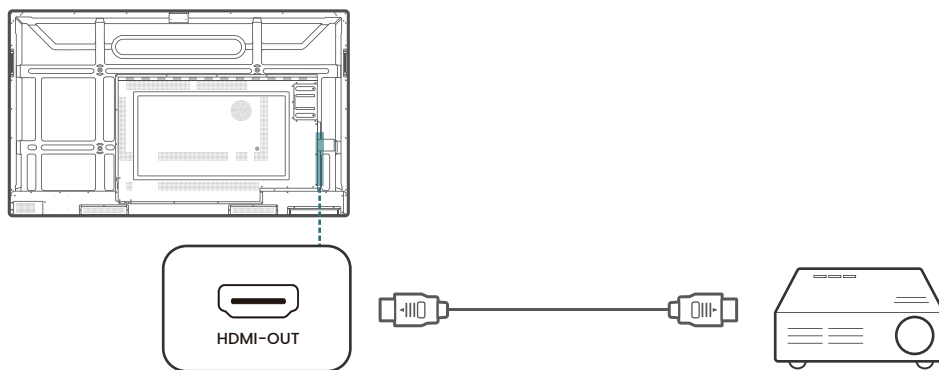
デジタル入力を接続する

1. HDMI または DisplayPort ケーブルを使用して、コンピュータまたは A/V デバイス (セットトップボックスや DVD プレーヤーなど) の HDMI または DisplayPort 出力ポートを電子黒板の **HDMI 1/HDMI 2/HDMI/DP IN** 入力ポートに接続します。
2. この入力からのビデオを表示するには、リモコンの  を押し、それぞれの入力ソースに切り替えます。



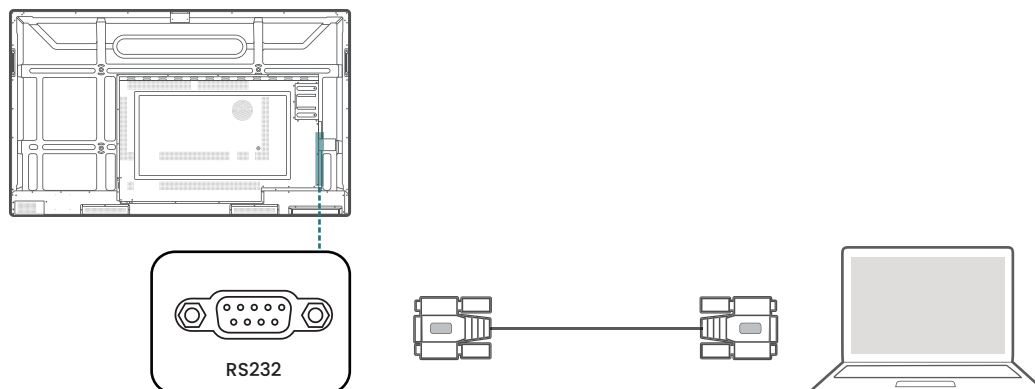
ビデオ出力を接続する

HDMI ケーブルを使用して、**HDMI 出力**ポートをデバイスのそれぞれの入力ポートに接続します。



シリアルポートに接続する

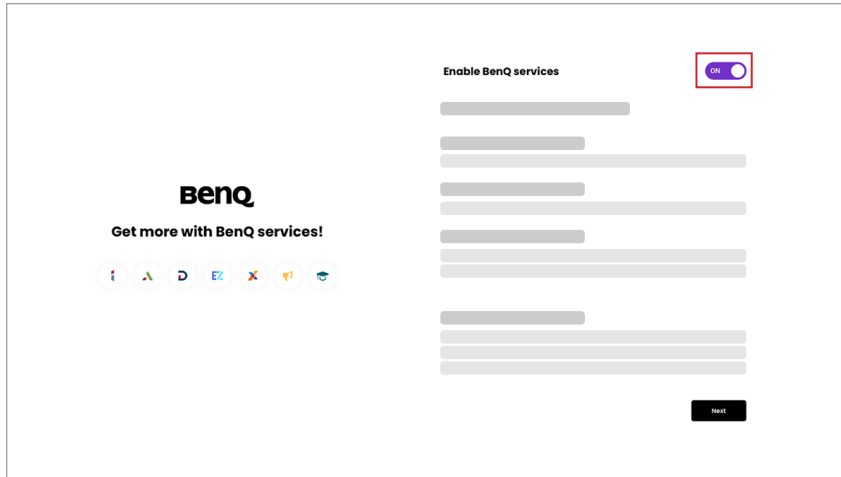
入出力端子の **RS232** ポートにパソコンを直接接続します。



- 該当するケーブルは付属しておりません。別途ご購入ください。
- この接続はストレート RS-232C ケーブルにのみ適用されます。
- シリアルポートラインを使用して中央制御装置と機械を接続すると、中央制御装置を介して機械のオン／オフ、音量の調整など機械の特定の機能を制御することができます。

初期設定

1. 電子黒板の電源を入れます。電子黒板が起動して、BenQ の画面が表示されるまで待ちます。
2. 画面の指示に従い、言語、日時設定、時刻、ネットワークを設定します。これらのステップの一部をスキップして、後ほどセットアップを完了することもできます。
3. データコピー、PIN 設定、Google アカウント設定は**スキップ**を選択して続行します。
4. BenQ サービス選択画面で、トグルを**オン**に設定します。



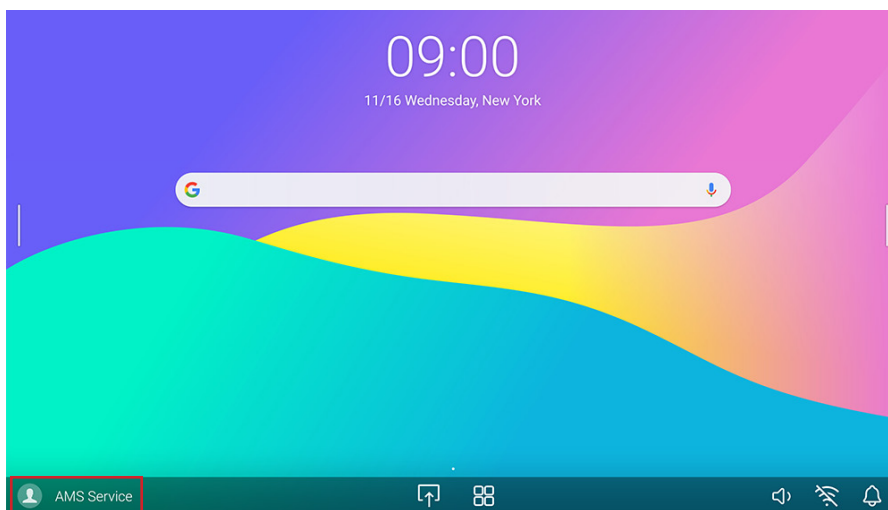
5. **次へ**を選択して続行します。BenQ ボードが再起動します。



Google には、ボードがアイドル状態のときにスクリーンをロックするデフォルトのスクリーンロック機能があります。この機能を無効にするには、**すべてのアプリ > 設定アプリ**をタップします。**セキュリティ > 画面ロック**に移動し、**なし**を選択します。

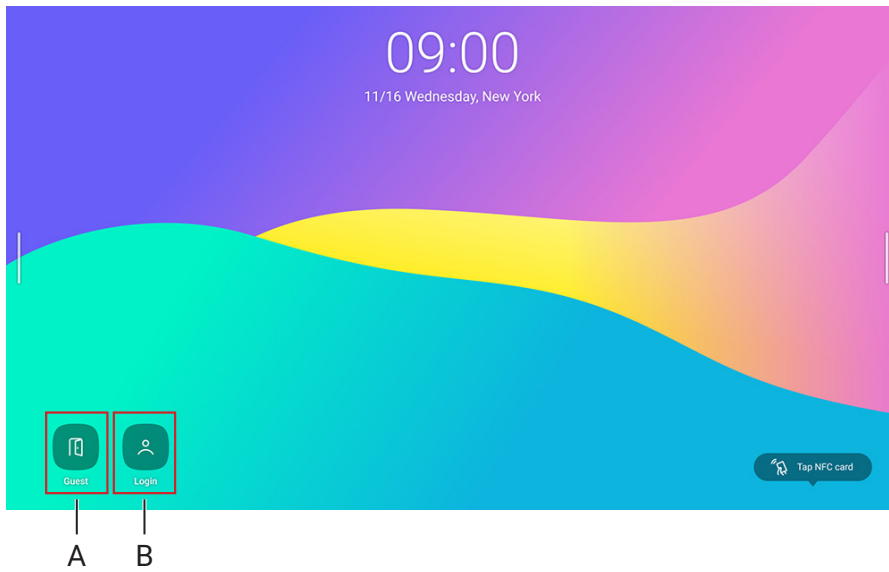
AMS サービスを有効にする

アカウント管理が必要な場合は、AMS サービスを有効にすることができます。左下角の **AMS サービス**を選択して、BenQ AMS サービスを有効にします。



BenQ ボードにログインする

BenQ では、アカウント管理を容易にするために、さまざまなログインオプションを提供しています。ログインオプションは次のとおりです。



A. ゲスト

ゲストとして、ほとんどの基本機能にアクセスできます。ログアウト後、すべてのデータが消去されます。

B. ユーザーログイン

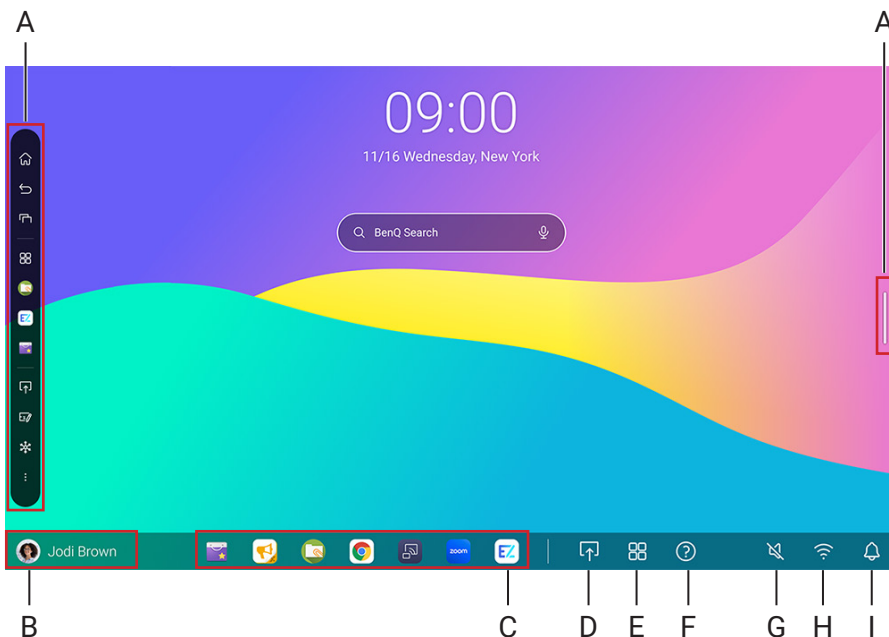
- AMS 管理者は、ボードへの完全なアクセス権があります。
 - AMS ユーザーは、作業スペースをカスタマイズし、個人のブックマーク、アプリのショートカット、壁紙を保持することができます。すべてのアプリデータは個別に保存されます。
- * 各ボードには、最大 8 つのユーザー情報が格納されます。



AMS サービスに関する詳細およびチュートリアルビデオについては、[BenQ ウェブサイト](#)をご覧ください。

BenQ サービスインターフェイス

サインイン後、ユーザーは次の機能にアクセスできます。



A. サイドツールバー (ページ 20 を参照)

B. ユーザー情報

C. アプリショートカット

最大7つのショートカットを追加します (AMS Web と同期)。

D. 接続

E. すべてのアプリ

タップしてすべてのアプリ、ウィジェット、ブックマークを検索します。

F. ヘルプ

G. 音量

H. Wi-Fi

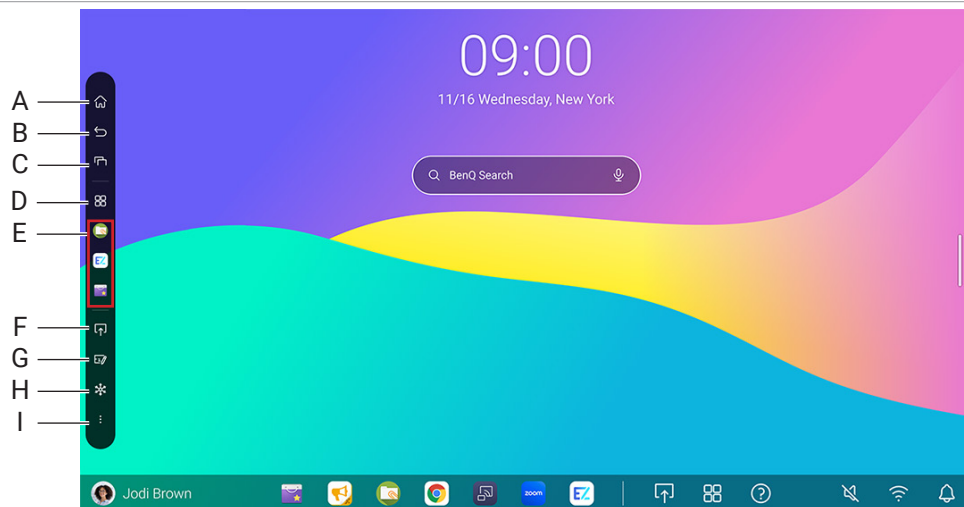
I. 通知

サイドツールバー

メインインターフェイスの左右にあるサイドバーをタップすると、サイドツールバーにアクセスできます。



お好みに合わせて、ツールを画面の上下にドラッグすることができます。



A. ホーム

B. 戻る

C. 最近

最近のアプリと入力ソースを切り替えます。

D. クイック起動

タップしてすべてのアプリとブックマークを検索します。

E. 最近開いたアプリ

F. 接続

G. EZWrite

H. 静止

I. フローティングツール ([ページ 33](#) を参照)

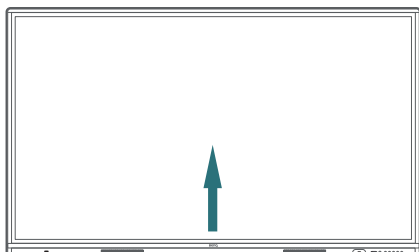
インターネット接続を設定する

OTA の更新を実行したり、インターネットを閲覧したりするには、電子黒板がネットワークに接続されている必要があります。

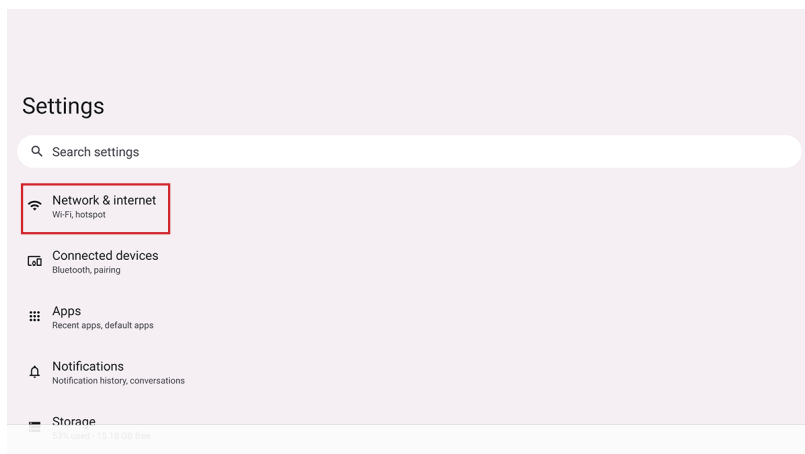
ワイヤレス接続

電子黒板をワイヤレスでインターネットに接続するには、無線 LAN 子機を使用する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法につきましては、最寄りの販売店にお問い合わせください。

1. アプリリストにアクセスするには、画面の下から上に向けてスワイプします。



2. アプリリストで、**設定**アプリを開きます。
3. **ネットワークとインターネット** > **インターネット**をタップします。



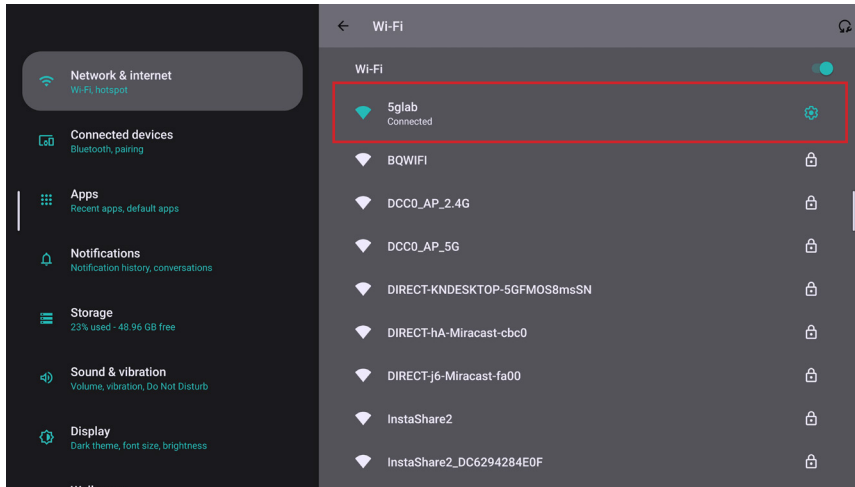
4. スイッチをタップして Wi-Fi をオンにします。
5. リストされているネットワークをタップします。



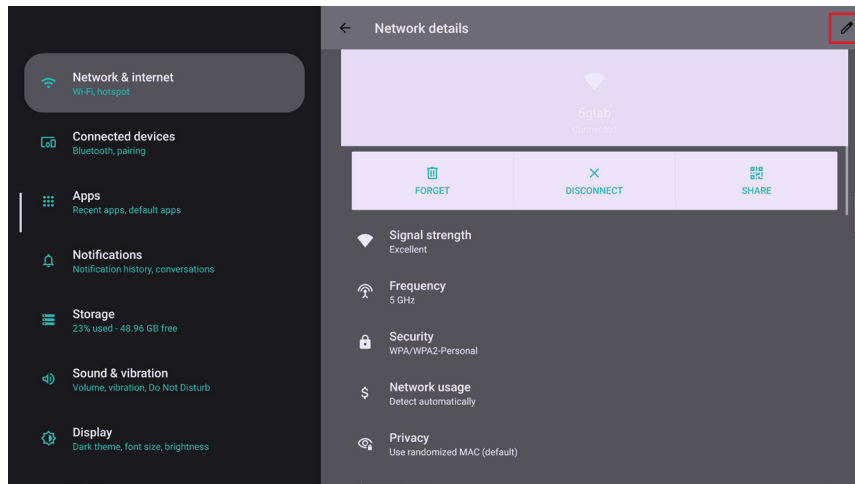
Wi-Fi または LAN を同時にオンにすることはできません。Wi-Fi を利用する前に LAN がオフになっているか確認してください。

Wi-Fi のプロキシ設定

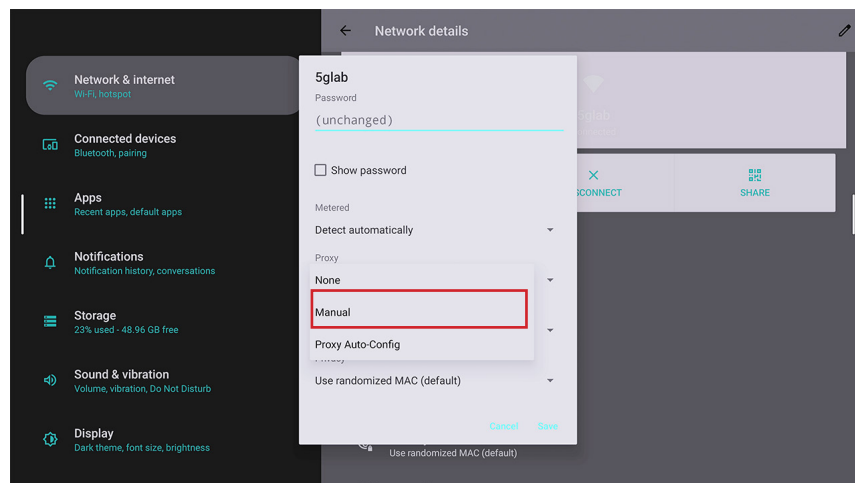
1. 設定アプリを開きます。
2. ネットワークとインターネット > インターネットの順にタップします。
3. 一覧から Wi-Fi ネットワークを選択します。



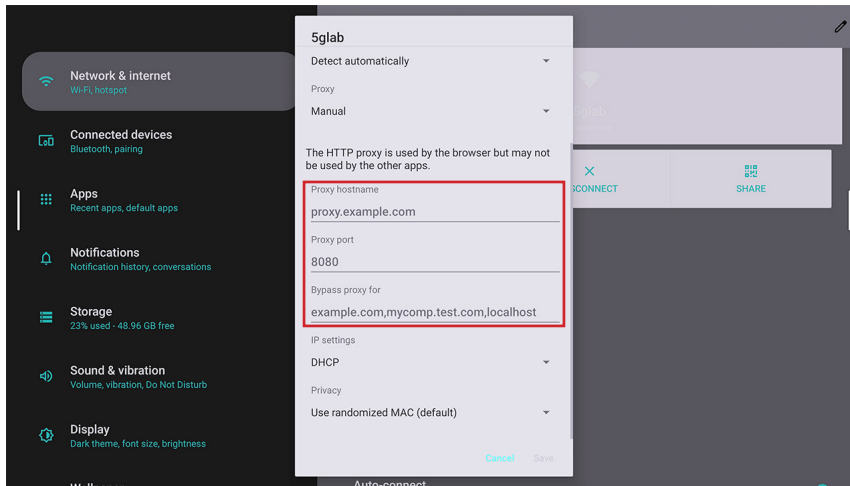
4. 右上隅の鉛筆アイコンを選択します。ダイアログボックスがポップアップされます。



5. ポップアップで、**詳細オプション**をタップしてメニューを広げます。
6. **プロキシ**ドロップダウンで、**手動**を選択します。



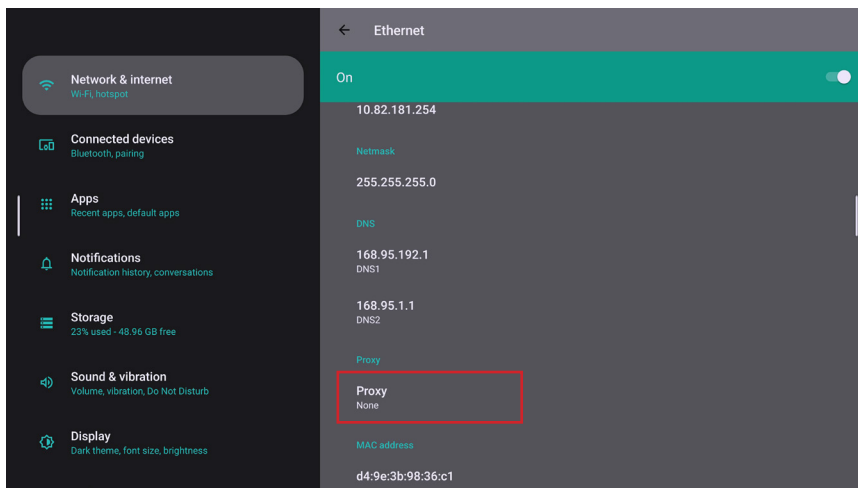
7. プロキシサーバーの情報を入力します。



8. 設定を保存します。

イーサネットのプロキシ設定

1. 設定アプリを開きます。
2. ネットワークとインターネット > イーサネットの順にタップします
3. プロキシを選択して、メニューを広げます。




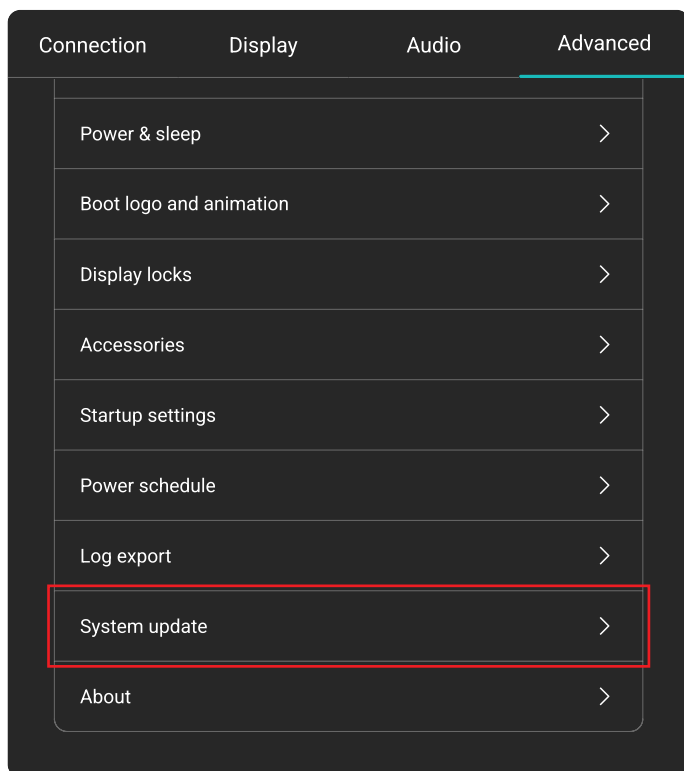
4. プロキシドロップダウンで、手動を選択します
5. プロキシサーバーの情報を入力します。
6. 設定を保存します。

システムアップデート

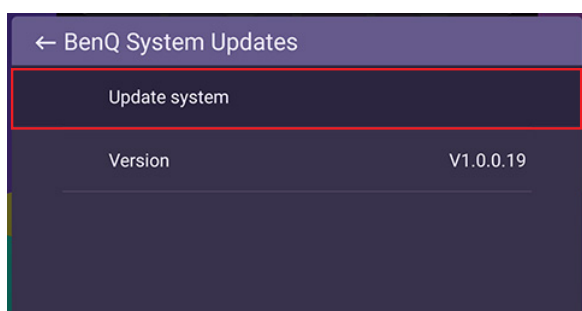
システムは、起動のたびにソフトウェアアップデートを自動的に検出し、プロンプトを表示します。

ソフトウェアを手動で更新するには

1. リモートコントロールまたはコントロールパネルのを押します。OSDメニューが表示されます。
2. **詳細設定 > システムアップデート**をタップします。



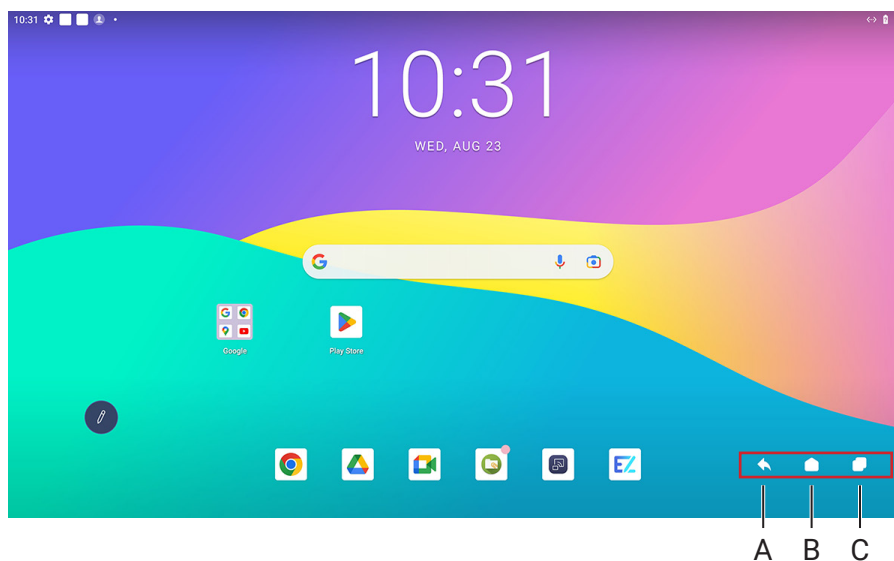
3. **システムの更新**を選択します。システムはアップデートを開始します。



- ソフトウェアの更新には時間がかかることがあります。
- 更新中にデバイスの電源を切ったり、インターネット接続を切断したりしないでください。ソフトウェア更新中に中断が起きた場合、電子黒板に永久的な損傷を与える可能性があります。

Google システムインターフェイス


BenQ サービスを有効にしなかった場合は、次のような Google インターフェイスが表示されます。




- A. 戻る
- B. ホーム
- C. 最新アプリ

メニュー操作

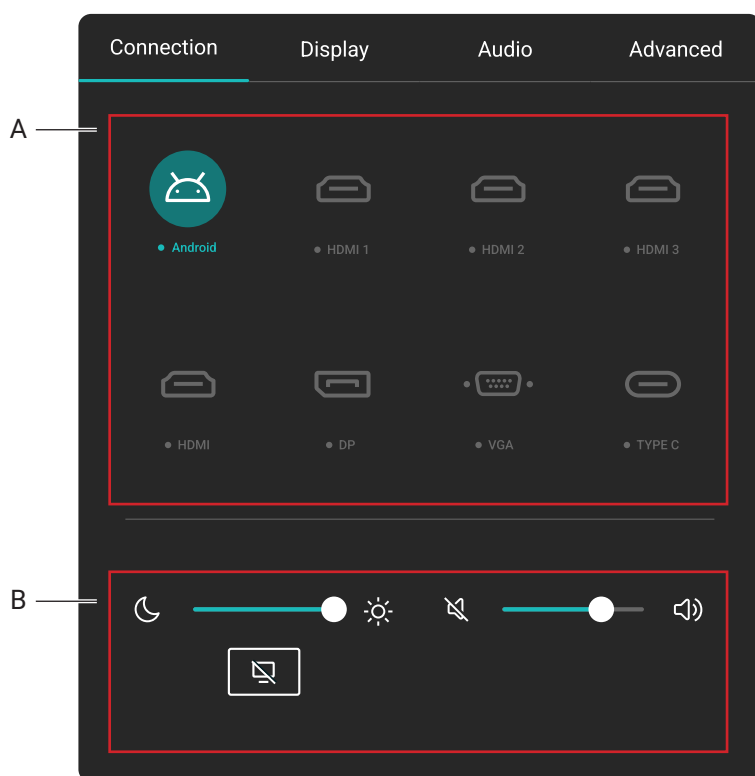
BenQ ボードによって

- OSD メニューを表示するには、コントロールパネルのを押します。
- 選択するには、項目を直接タップします。
- 終了するには、メニューの外側の空白領域をタップします。

リモート操作によって

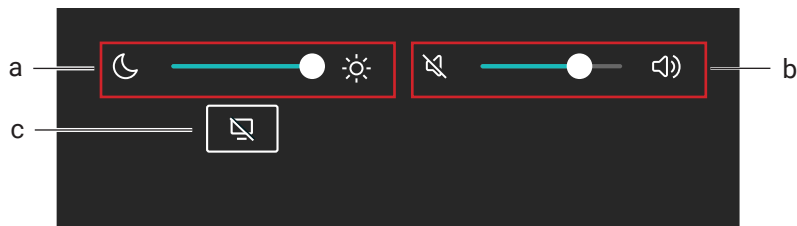
- OSD メニューを表示するには、リモコンのを押します。
- 選択するには、**▲/▼/◀/▶**を押し、**OK**を押して確定します。
- **⏪**を押してメニューを終了します。

接続設定



- A. 入力ソースを選択して接続します。
- B. [一般設定](#)を参照してください。

一般設定



a. 輝度

- ・ 輝度バーを使用して、電子黒板の輝度を調整します。
- ・ 画像の詳細を調整するには、**⚙️ > 画面設定 > 画面モード**に進みます。

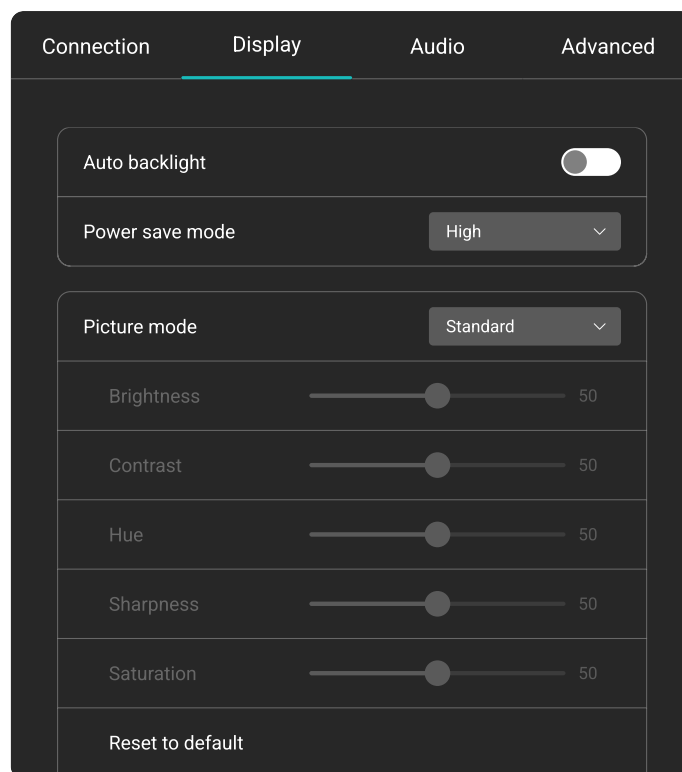
b. 音設定

- ・ 音量バーを使用して、電子黒板の音量を調整します。
- ・ 音声の詳細を調整するには、**⚙️ > 音設定**に進みます。

c. Blank

- ・ 選択すると、画面が一時的に非表示になります。
- ・ 画面の任意の場所をタップして、ブランクモードを終了します。
- ・ 音声をバックグラウンドに残すか、**⚙️ > 画面設定 > 詳細設定 > リモコンの BLANK ボタン**に残さないかを選択します。

画面設定



メニュー	概要
明るさ自動調整	自動バックライトのオン/オフを切り替えます。
省エネモード	HDMI、DP、VGA、Type-C などの入力ソースが検出されない場合、省電力オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ オフ：常にバックライトを点灯します。・ 低：5 分経過しても入力ソースが検出されない場合は、バックライトが消灯します。・ 高：5 分経過しても入力ソースが検出されない場合は、電子黒板がオフになります。
画面モード	スクリーンに表示される画像の種類に最適なプリセット画面モードを切り替えます。オプションは、 標準 、 明るい 、 ソフト 、 Custom1 、 Custom2 、 Custom3 です。  Android OS では、すべての画面パラメータ (明るさ、コントラストなど) がロックされます。ユーザーは、HDMI、DP、VGA、Type-C などの他の入力ソースに接続している間のみ、パラメータを調整できます。
色温度	電子黒板の色温度を調整します。オプションは 標準 、 寒色 、 暖色 です。
カスタム入力ソース名	各入力ソースに一意の名前を設定します。

詳細設定

以下の機能を調整します：

- アスペクト比
- EDID
- HDMI CEC
- ピクセルシフト
- ダイナミック コントラスト
- 入力ソース自動切り替え
- HDMI 出力
- リモコンの BLANK ボタン
- 水平位置、垂直位置、クロック、位相を含む VGA キャリブレーション。

Eye-Care ソリューション

波長 455nm 未満のブルーライトは視力に影響を与える可能性があります。Eye-Care ソリューションは視力保護のために設計されています。電子黒板は、超低青色光放射を備えた独自の Eye-Care 技術により、0 ~ 3000Hz の範囲で可視または不可視のフリッカーを発生させず、電子黒板の長時間使用による眼精疲労を防ぎます。さらに、高度なアンチグレアスクリーン処理により、不要な反射や映り込みを最小限に抑え、生産性と快適性を最適化します。



電子黒板の長期使用に関する提案：

- 30 分間連続使用した後は、10 分間目を休めてください。
- 電子黒板を 20 分間見るごとに、20 秒間遠くを見つめてください。
- 目に痛みや疲れが生じた場合には、1 分間目を閉じてから、目を全方向に動かしてください。

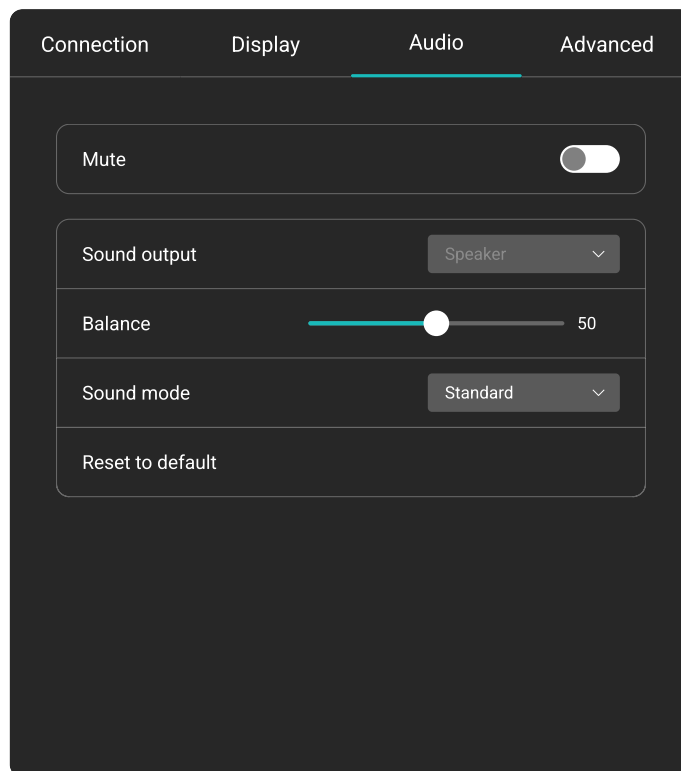
低ブルーライト & フリッカーフリー

- 低ブルーライト TÜV 認証を満たすため、電子黒板は次のような設定にしてください：
 - 画面モード：標準
 - 色温度：標準
- 電子黒板のデフォルト設定は、フリッカーフリー TÜV 認証を取得しています。

フリッカーフリーとは？

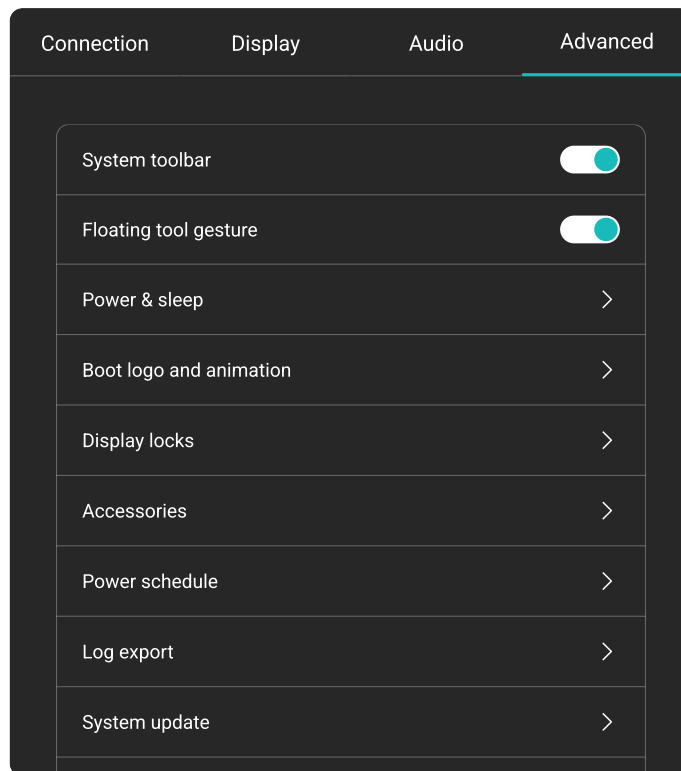
フリッカーフリー技術を採用した電子黒板は、モニターのちらつきの主な原因を排除する DC 調光機能により、安定したバックライトを維持し、目への負担を軽減します。フリッカーフリー技術は、快適な視聴体験を提供するだけでなく、目を保護するより安全な選択肢でもあります。



音設定



メニュー	概要
ミュート	スイッチをタップして、ミュートまたはミュート解除を行います。
サウンド出力	オーディオ出力ソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none">・ スピーカー : BenQ ボードからの出力・ EARPHONE : 外部スピーカーからの出力・ 両方 : BenQ ボードと外部スピーカーの両方からの出力
バランス	オーディオ出力のサウンドバランスを調整します。
サウンドモード	お使いの環境に最適なプリセットサウンドモードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">・ 標準・ ニュース・ 映画・ スポーツ・ 音楽

詳細設定



メニュー	概要
サイドバー	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。
フローティングツールジェスチャー	2本の指で フローティングツール をアクティブ化をオンまたはオフにします。
電源オフ & スリープ	ディスプレイが自動的に スリープタイマー / 電源オフタイマー モードに入る時間を設定します。
起動時のロゴとムービー	ブートロゴとアニメーションをカスタマイズします。
アクセスロック	<p>ロックのオン / オフを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前面ボタンロック : コントロールパネルのボタンをロックします。 • リモコンロック : コントロールパネルのリモコン IR センサーをロックします。 • 画面タッチロック : 電子黒板スクリーンをロックします。 <p> すべてのロックが一度にロックされた場合は、コントロールパネルのを5秒間押してロックを解除します。</p>
InstaShare Button モード	<p>InstaShare ボタンを使用してワイヤレスで投影するモードを有効にします。</p> <p>*2024 年第 1 四半期までに提供開始</p>
アクセサリ	マイクとウェブカメラのソースを選択します。
起動設定	<p>起動時の入力ソース設定および複数のウェイクアップ設定を設定します。OPS 起動設定の場合、オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力ソース切替時に OPS 起動 : 接続で OPS を選択して OPS を起動します。 • 本体起動時に OPS 起動 : BenQ ボードの起動時に OPS を起動します。

メニュー	概要
電源スケジュール	指定した時刻に電子黒板を起動 / 終了し、起動ソースを設定します。スケジュールは7件まで設定できます。
システムアップデート	システムソフトウェアを手動で更新します。詳しくは 24 ページのシステムアップデート を参照してください。
USB クローン	USB ストレージからデバイス設定をインポートするか、デバイス設定を USB ストレージにエクスポートします。 *2024 年第 1 四半期までに提供開始
バージョン情報	システム情報を表示します。











フローティングツール

EZWrite フローティングツールを使用すると、電子黒板に表示されている画面上に素早く注釈を書き込んだり、作成したりすることができます。

フローティングツールにアクセスするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- Android のインターフェイスでサイドツールバーをタップします。
- 任意の入力ソースまたは Android インターフェイスで、約 20 ～ 50mm 離れた 2 本の指をスクリーン上で 2 秒以上タッチしたままにすると、下図のようなフローティングツールメニューが開きます。











アイコン	機能	概要
	最小化／復元	フローティングツールを最小化または復元します。
	閉じる	フローティングツールを閉じます。
	ペン	ペントールを有効にします。
	蛍光ペン	蛍光ペントールを有効にします。
	レーザーポインター	スクリーン上のレーザーポイントを有効にします。
	消しゴム	少なくとも上の注釈を消去します。指消しゴムを使用したり、すべての注釈を消去したりできます。
	ツールボックス	電卓、タイマー、ストップウォッチ、スコアボード、ドロートールを含むツールボックスを開きます。
	録画中	スクリーンを録画します。
	スクリーンショット	スクリーンのスクリーンショットを撮影します。
	動作モード	すべての注釈を非表示にし、メインインターフェイスを操作します。

アプリ

デフォルトでは、すべての Google サービスと一部の BenQ アプリにアクセスできます。

BenQ アプリ

アイコン	アプリケーション名	説明
	AMS ファイル	パーソナライズされたワークスペース環境や設定にアクセスし、ログインした任意の BenQ 電子黒板でファイルやアカウントを管理します。
	EZWrite 6	電子黒板をデジタルキャンバスに変えるインタラクティブなホワイトボードソフトウェア。
	InstaShare 2	画面ミラーリングとタッチコントロールで共同会議が可能に。
	BenQ アプリストア	お勧めのアプリをダウンロードできます。
	通知	既存のアプリのアップグレード通知や、ダウンロード可能な新しいアプリの情報を受け取ることができます。
	X-Sign ブロードキャスト	スケジュールされたメッセージとインスタントアラートを、いつでもすべての BenQ デバイスに配信できます。
	DMS クライアント	電子黒板のリモート管理、設定、および監視を可能にします。
	BenQ のウェブサイトアクセスして、各 BenQ ソフトウェアのユーザーマニュアルを確認してください。	

対応するメディア形式

拡張子	コーデックの詳細	解像度
.3gp	MPEG-4 Visual	640x480
	MPEG-4	320x240
	H264	1920x1080
.avi	AVC	1920x1080
	M-JPEG	1024x576
	RealMagic MPEG-4	720x480 720x576
	h264	1920x1080
.f4v	FF mpeg MPEG4	640x480
	AVC(H264)	1280x720
.flv	Sorenson Spark	1920x1080
	VP6	800x342
.mp4	AVC(H264)	1920x1080
	HEVC(H26 5)	1920x1080
	4K HEVC(4K H265)	4096x2304
	8K HEVC(8K H265)	8192x4320
.m2ts	AVC	1920x1080
	VC-1	1920x1080
.m2v	MPEG-2	480x576
.m4v	AVC	1280x720
.mkv	WMV3	1280x720
	MPEG-4 Visual	1920x1080
	AVC	1920x1080
	4K HEVC(4K H265)	3840x2160
	8K HEVC(8K H265)	8192x4320
	VP8 VP9	1920x1080 1920x1080
.mov	MPEG-4 Visual	1280x720
	mjpa	640x480
	M-JPEG	640x480
	AVC(H264)	1920x1080
	4K H264	3840x2160
.mpeg	MPEG-2	1920x1080
	VC-1	1920x1080
	MPEG-1	720x576

拡張子	コーデックの詳細	解像度
.mts	AVC	1440x1080
.ogm	XVID	640x480
.PMP	H264	480x272
.rmvb	RealVideo1	1280x720
	RealVideo2	1280x720
	RealVideo3	1280x720
	RealVideo4	1920x1080
.tp	MPEG-2	1920x1088
	HEVC(H26 5)	1920x1080
	4K HEVC(4K H265)	4096x2304
	8K HEVC(8K H265)	8192x4320
	MPEG-1	1920x1080
.ts	avs	720x576
	avs+	1920x1080
	avs2	3840x2160
	AVC	1920x1080
	MPEG-2	1920x1080
	MPEG-2	720x576
.vob	MPEG-2	720x576
.wmv	WMV1	640x480
	WMV2	768x432
	WMV3	1920x1080
.webm	VP8	1920x1080
	VP9	1920x1080
	4K VP9	4096x2160
	8K VP9	8192x4608
4K	AVC(H264)	4096x2304
	HEVC(H26 5)	4096x2304
	VP9	4096x2160
8K	HEVC(H26 5)	8192x4320
	VP9	8192x4608

製品情報

仕様

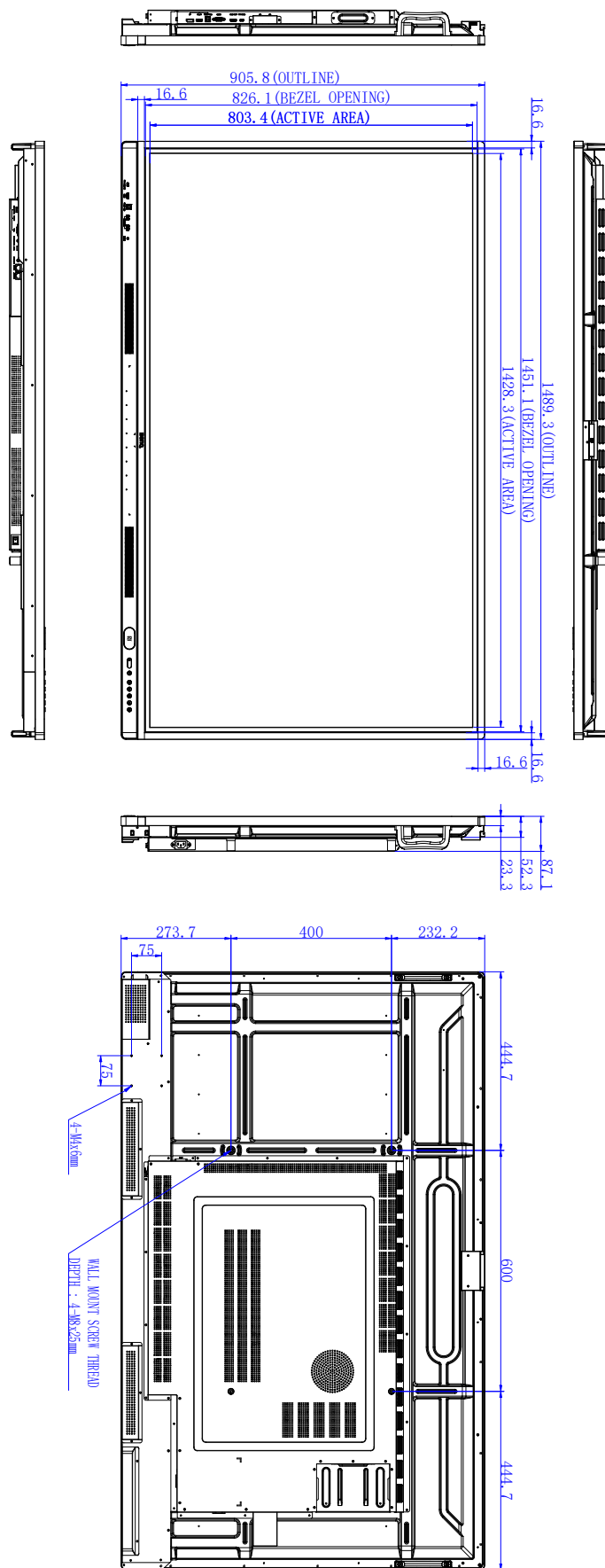
項目	仕様	
	RM6504 / RM7504 / RM8604	
パネル	バックライト	直下型 LED
	パネルサイズ	RM6504 : 65 RM7504 : 75 RM8604 : 86
	画素ピッチ (mm)	RM6504 : 0.37 (H) × 0.37 (V) RM7504 : 0.43 (H) × 0.43 (V) RM8604 : 0.49 (H) × 0.49 (V)
	ネイティブ解像度 (画素)	UHD 3840 × 2160
	アクティブエリア (mm)	RM6504 : 1428.48 (H) x 803.52 (V) RM7504 : 1649.664 (H) x 927.936 (V) RM8604 : 1895.04 (H) x 1065.96 (V)
	ガラスありの輝度 (cd/m ²) (標準)	400
	ガラスなしの輝度 (cd/m ²) (標準)	450
	コントラスト (標準)	1200:1
	応答時間 (ms)(標準)	8
	アスペクト比	16:9
タッチ	テクノロジー	赤外線遮断方式
	タッチ方式	指&スタイラス
	システム	Windows XP/7/8/10/11 Linux Mac OS X Android Chrome OS
	タッチポイント	Windows では最大 40 ポイント、Android では 最大 32 ポイントのタッチ
	最低限の対象認識	2 mm、ペン先は 4 mm/9 mm、2 色同時に 2 本 のペン書きに対応
	応答時間 (ms)	<5
	精度	± 1.0mm, 90%エリア
ガラス	3.2mm 厚、AG、9H、抗菌	

項目	仕様	
	RM6504 / RM7504 / RM8604	
コネクター	HDMI 入力	x1(2.0、前面) x2 (2.0)
	HDMI 出力	x1 (2.0)
	DP 入力	x1 (1.2a)
	VGA 入力	x1
	PC オーディオ入力 (3.5mm)	x1
	マイク入力	x1(前面)
	SPDIF 出力 (オプティカル)	x1
	オーディオ出力 (3.5mm イヤホン)	x1
	USB 2.0 (タイプ A)	x2
	USB 3.0 (タイプ A) (OPS / 外部フォロー)	x2(前面) x1(上面)
	USB 3.0 (タイプ A)	x2
	USB タッチ出力 (OPS / 外部パススルー MIC / カメラ / USB)	x1(3.0、前面) x2 (3.0)
	USB 3.0 (タイプ C)	x1(データ / 最大給電 65 W/ タッチ /DP、前面) x2 (データ)
	RS232	x1
	LAN (RJ45)	OPS : 10M/100M/1000M Android : 10M/100M/1000M LAN 入力 x1 / LAN 出力 x1
システム	システムメモリ	8GB
	記憶域	128GB <RP6504-2/RP7504-2/RP8604-2> 32GB <RP6504/RP7504/RP8604>
	OS	Android 13
	CPU	A73x4 + A53x4
	GPU	MaliG52 MP8
オーディオ	オーディオ W(アンプ)	20W (最大) x2
	内部スピーカー	0
電源	電源要件	AC 100V-240V, 50/60 Hz
	待機電力	<0.5W
	標準消費電力 (W)	RM6504 : 106.1W RM7504 : 124.7W RM8604 : 168.9W
	最大消費電力 (W)	RM6504 : 395W RM7504 : 442W RM8604 : 563W
	ウェイクアップ	LAN/HDMI/VGA/DP

項目		仕様
		RM6504 / RM7504 / RM8604
環境	動作温度	0°～ 40° C
	動作湿度	相対湿度 20 ～ 80% (相対湿度、結露なきこと)
	保管温度	-10°～ 60° C
	保管湿度	相対湿度 10 ～ 80% (相対湿度、結露なきこと)
メカニカル	寸法 (W x H x D)	RM6504 : 1489.3 × 905.8 × 87.1 mm (58.6 × 35.7 × 3.4 インチ) RM7504: 1717.1 x 1036.8 x 87.1 mm (67.6 x 40.8 x 3.4 インチ) RM8604 : 1962.4 × 1174.9 × 87.1 mm (77.3 × 46.3 × 3.4 インチ)
	梱包時寸法 (W x H x D mm)	RM6504: 1640.0 × 1010.0 × 185.0 mm (64.6 × 39.8 × 7.3 インチ) RM7504 : 1860.0 x 1125.0 x 185.0 mm (73.2 × 44.3 × 7.3 インチ) RM8604: 2095.0 × 1265.0 × 185.0 mm (82.5 × 49.8 × 7.3 インチ)
	重量 (製品 出荷時)	RM6504: 37.8 kg 51.5 kg (83.3 ポンド 113.5 ポンド) RM7504 : 51.5 kg 67.6 kg (113.5 ポンド 149.0 ポンド) RM8604 : 65.2 kg 82.9 kg (143.7 ポンド 182.8 ポンド)
その他	アレイマイク	x8
アクセサリ	ケーブル	1 × VGA (3m 9.8 フィート)、1 × HDMI (3m 9.8 フィート)、1 × タッチ用 USB Type-B (3 m 9.8 フィート)、1 × USB-C (1.5m 4.9 フィート)
	壁掛け金具	1
	ペン	2
	リモコン	1
	電源コード	タイプおよび数量は地域によって異なる (3m 9.8 フィート)

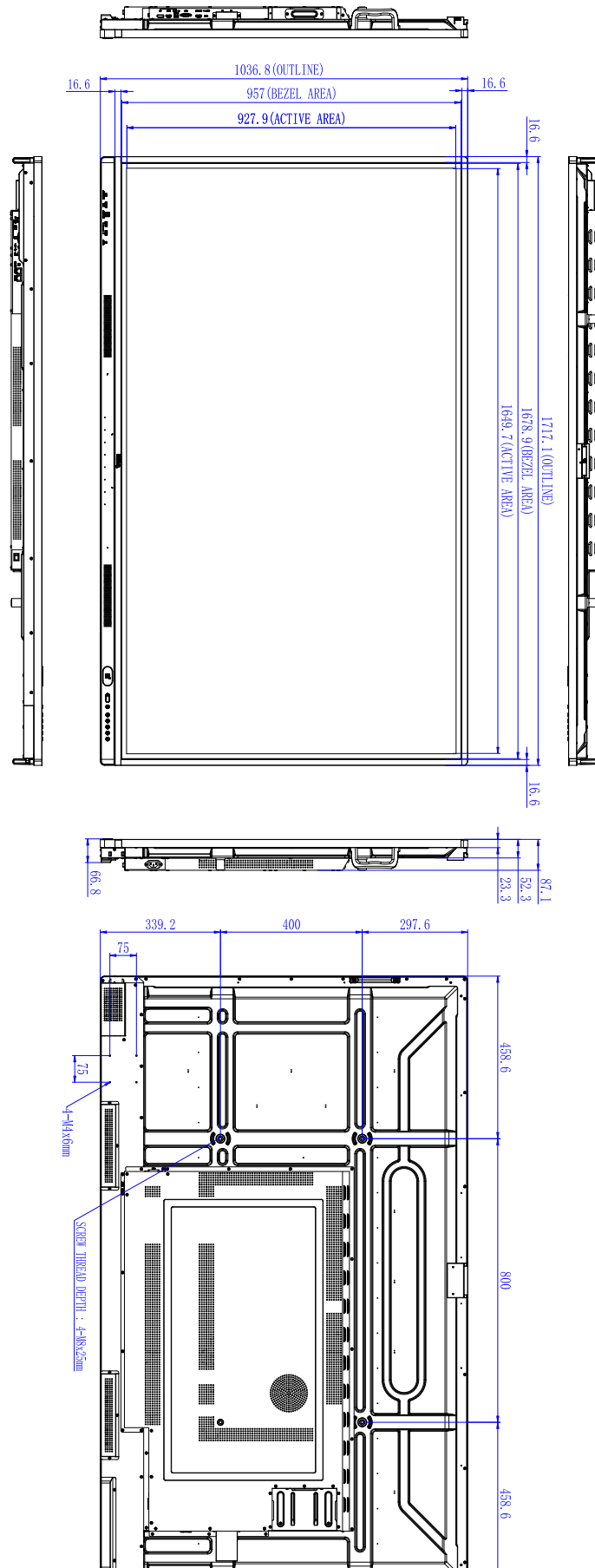
- 仕様及び機能は予告なく変更されることがあります。
- OPS は耐火性エンクロージャーを装備すること。

寸法 (RM6504)



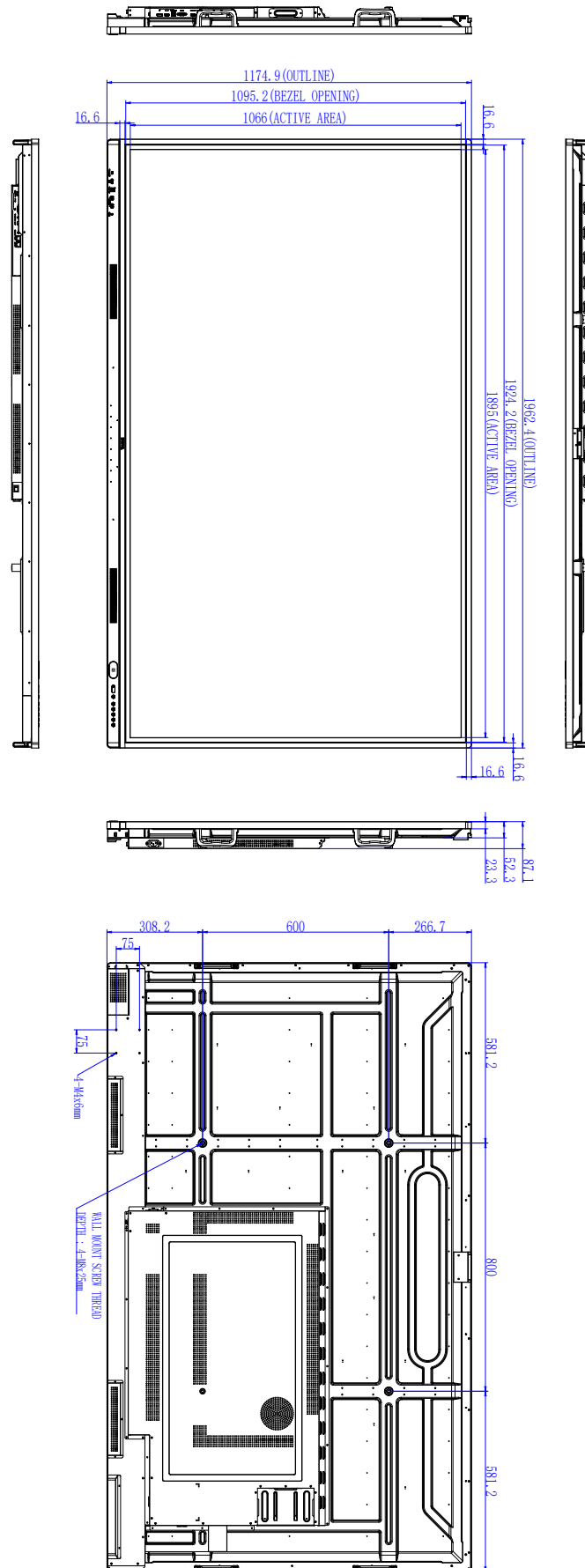
単位：mm

寸法 (RM7504)



単位：mm

寸法 (RM8604)



单位：mm

対応する入力信号解像度

解像度	入力ソース			
	TYPE C	VGA	HDMI 2.0	DP
640 x 480 @ 60Hz		○		
720 x 400 @ 85Hz				
800 x 600 @ 60Hz		○	○	
1024 x 768 @ 60Hz		○	○	
1280 x 768 @ 60Hz		○	○	
1280 x 960 @ 60Hz			○	
1280 x 1024 @ 60Hz		○	○	
1360 x 768 @ 60Hz		○	○	
1366 x 900 @ 60Hz		○	○	
1680 x 1050 @ 60Hz		○	○	
1920 x 1080 @ 60Hz	○	○	○	○
3840 x 2160 @ 24Hz	○		○	○
3840 x 2160 @ 25Hz	○		○	○
3840 x 2160 @ 30Hz	○		○	○
3840 x 2160 @ 50Hz	○		○	○
3840 x 2160 @ 60Hz	○		○	○
480i (60Hz)			○	○
480p (60Hz)			○	○
576i (50Hz)			○	○
576p (50Hz)			○	○
720p (50Hz)			○	○
720p (60Hz)			○	○
1080i (50Hz)			○	○
1080i (60Hz)			○	○
1080p (50Hz)			○	○
1080p (60Hz)			○	○



- ○ : 対応
- 空白 : 非対応

トラブルシューティング

問題

解決策

画面なし	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 電子黒板の電源は入っていますか？電子黒板の電源インジケータを確認してください。• 信号源機器の電源は入っていますか？デバイスの電源を入れてから再度お試しください。• ケーブルの接続が緩んでいませんか？すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。• コンピューターでサポートされていない出力解像度を選択していませんか？ 43 ページの対応する入力信号解像度を参照してサポートされている解像度を選択し、再試行してください。• DVD またはブルーレイディスクプレーヤーで、サポートされていない出力解像度を選択していませんか？ 43 ページの対応する入力信号解像度を参照してサポートされている解像度を選択し、再試行してください。
音声なし	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 電子黒板または入力ソース機器のミュート機能をオンにしましたか？ミュート機能をオフにするか、オーディオの音量レベルを上げてから再試行してください。• ケーブルの接続が緩んでいませんか？すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
コンピューターの入力画像がおかしい。	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターでサポートされていない出力解像度を選択していませんか？ 43 ページの対応する入力信号解像度を参照してサポートされている解像度を選択し、再試行してください。• 自動調整機能（VGA のみ）を使用すると、電子黒板が自動的にコンピュータ画像の表示を最適化します。• 自動調整機能の結果が満足のものでない場合は、位相、水平位置、および垂直位置機能を使用して、手動で画像を調整します。• 以下の順に進みます 画面設定 > 詳細設定 > EDID。EDID を 1.4 に設定して、再試行してください。
コントロールパネルのボタンが動作しない。	<p>コントロールパネルのボタンをロックしましたか？ボタンのロックを解除してから再試行してください。</p>

リモコンが動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコン機能をロックしましたか？機能のロックを解除してから再試行してください。 ・ バッテリーの向きが正しいことを確認します。 ・ バッテリーが切れていないかを確認します。 ・ 電子黒板との距離と角度を確認します。 ・ リモコンが電子黒板のリモコンセンサーウインドウに正しく向けられていることを確認します。 ・ リモコンとリモコンセンサー窓の間に障害物がないことを確認します。 ・ リモコンのセンサー窓が強い蛍光灯の下や直射日光の下にないことを確認します。 ・ リモコンと電子黒板間の信号伝送に干渉を起こす可能性がある赤外線信号を送信するデバイス（コンピューターやPDA）が近くにないことを確認します。これらの機器の赤外線機能をオフにします。
リモコンの不具合	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンとテレビのリモコン受光窓の間に他の障害物があり、リモコンの不具合につながっていないことを確認します。 ・ リモコンの電池電極が正しいことを確認します。 ・ リモコンの電池交換が必要かどうかを確認します。
機械が自動的にシャットダウンする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スリープに設定したかどうか。 ・ 突然の停電がないことを確認します。 ・ 信号の自動シャットダウンがないことを確認します。
信号範囲外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板が正しく設定されていることを確認します。 ・ 解像度が最適であることを確認します。 ・ メニューでラインとフィールドの同期を調整します。
背景に縦線や縞がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ メニューで自動補正を選択します。 ・ メニューで時計と位相の位置を調整します
画像に色がなく、色が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ・ VGA がうまく接続されているか、品質に問題がないかを確認します。 ・ メニューで色度及び明度又はコントラストを調整します。
サポートされていない表示形式。	<ul style="list-style-type: none"> ・ メニューで自動補正を選択します。 ・ メニューで時計と位相の位置を調整します
タッチ機能が無効	<ul style="list-style-type: none"> ・ タッチドライバーがインストールされ、起動していることを確認します。 ・ 触った物のサイズが指と同等であることを確認します。
タッチの位置が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバーが正しくインストールされていることを確認し、修正します。 ・ タッチペンが画面に向いていることを確認します。
水平または垂直ストライプ、画像ディザリングがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号線が正しく接続されていることを確認します。 ・ 機械の周囲に他の電子機器や電動工具が置かれていないことを確認します。
色がなく、色が弱い、画像が薄い	<ul style="list-style-type: none"> ・ メニューで色度及び明度又はコントラストを調整します。 ・ 信号線が正しく接続されていることを確認します。

問題	解決策
画像はあるが音がない	<ul style="list-style-type: none"> • ミュートボタンが押されてミュートになっていないことを確認します。 • VOL+/VOL- を押して音量を調整します。 • オーディオラインが正しく接続されていることを確認します。
片方のスピーカーからしか音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • メニューでサウンドバランスを調整します。 • コンピューターのサウンドコントロールパネルで1つのサウンドチャンネルしか設定されていないことを確認します。 • オーディオラインが正しく接続されていることを確認します。
VGA 出力 (サウンドなし)	<ul style="list-style-type: none"> • 外部機器がヘッドホンケーブルで接続されているか確認してください。



Shape
the Future
of Learning